

～広げていこう 清須のおいしい物語～

清須食育プラン2031

— 第4次清須市食育推進計画 —

令和7年度～令和13年度



清 須 市

目 次

第 1 章	計画策定の背景・位置づけ	
1	計画策定の背景	・・・ 1
2	計画の位置づけ	・・・ 2
3	計画の期間	・・・ 3
第 2 章	アンケート結果から見える現状と課題	
1	アンケートの概要	・・・ 4
2	アンケートの結果	・・・ 5
3	検証と課題	・・・ 22
第 3 章	計画の基本的な考え方	
1	基本理念	・・・ 28
2	計画のめざす姿	・・・ 28
3	取り組みの柱と基本施策	・・・ 29
第 4 章	目標指標	・・・ 30
第 5 章	食育推進に関する取り組み	・・・ 32
第 6 章	清須市食育推進の環	・・・ 38
参考資料		・・・ 39

第 1 章 計画策定の背景・位置づけ

1 計画策定の背景

食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることであり、生きる上での基本であって、教育の三本柱である知育、徳育及び体育の基礎となるべきものとして位置づけられています。

国は、「国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむ」ことを目的に、平成 17 年 7 月に「食育基本法」を制定し、愛知県においても食育基本法の理念にのっとり、「県民の健康で文化的な生活と豊かで活力ある社会の実現」を食育の方向とする「あいち食育いきいきプラン（愛知県食育推進計画）」を平成 18 年 11 月に策定し、それぞれの計画に基づき、食育を総合的かつ計画的に推進してきました。

清須市においても、平成 21 年 3 月に「清須市食育推進計画」、平成 26 年 3 月には「第 2 次清須市食育推進計画・やってみよう清須のおいしい物語」を、さらに令和 2 年 3 月には第 3 次清須市食育推進計画・つながってみよう清須のおいしい物語」を策定し、食育関係団体と協働で「食育まつり」、「食育レポート」、「食育推進事業」等各種食育事業を継続して実施してきました。

その結果、市民の方々の食育について関心は高まり、バランスのとれた食事をとっている人の割合が増え、食育という言葉の認知度も上がりました。

しかしながら、食に関する情報の氾濫、食品ロスの問題など、持続可能な社会を目指して食育からのより一層の対応が求められています。

こうしたことから、今後も清須市における食育を更に推進していくため、清須市食育推進計画（第 3 次計画）を評価、検証して基本理念や成果を継承した、「第 4 次清須市食育推進計画」を策定しました。

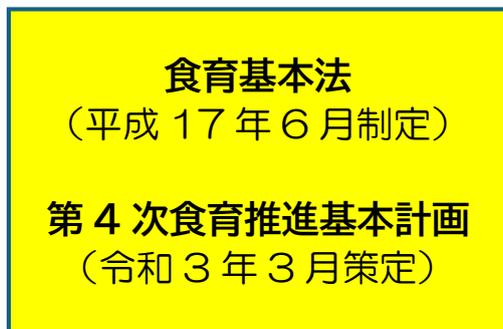
2 計画の位置づけ

本計画は、食育基本法の目的・基本理念を踏まえ、同法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画として位置づけます。

清須市として、食育に関する基本的な考え方を示し、具体的な取り組みや指標を掲げて、関係施策を総合的かつ計画的に推進していくために必要な事項を定め、行政はもとより、市民、それを取り巻く地域、団体等がそれぞれ役割に応じて連携協議して食育に取り組んでいくための基本とします。

なお、国の定める「第4次食育推進基本計画」や、愛知県の定める「あいち食育いきいきプラン2025」をはじめ、「第3次清須市総合計画」などの市の上位計画・関連計画との整合性を図りながら食育に関する取り組みを実施していくものとします。

国



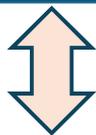
食育基本法
第18条第1項



清須市



県



3 計画の期間

本計画の期間は、令和7年度から令和13年度までの7年間とし、計画期間中に状況の変化等が生じた場合には、必要に応じて見直すこととします。

令和7年度 ~ 令和13年度



第2章 アンケート結果から見える現状と課題

1 アンケートの概要

第4次食育推進計画を策定するにあたり、市民の食育に関する現状・意識・態度について、過去の調査からどのように変わったかを把握するため、下記のとおり「食育に関するアンケート」を実施しました。

(1) 調査対象者

- ① 市内保育園・幼稚園児の保護者及び小学5年生・中学2年生の保護者
- ② 市内小学校にかよう5年生
- ③ 市内中学校にかよう2年生

(2) 対象者数

① 保護者

市立幼稚園	市立保育園	小学5年生	中学2年生
110名	1,335名	656名	642名

- ② 小学5年生 656名
- ③ 中学2年生 642名

(3) 調査時期

令和6年6月14日 ～ 令和6年7月8日

(4) 調査方法

園、学校を通じた配布・回収

(5) 回答数及びデータ数

保護者：回答数 2,434名(回収率 88.7%)/データ数 2,401名

小学5年生：回答数 626名(回収率 95.4%)/データ数 619名

中学2年生：回答数 577名(回収率 89.9%)/データ数 571名

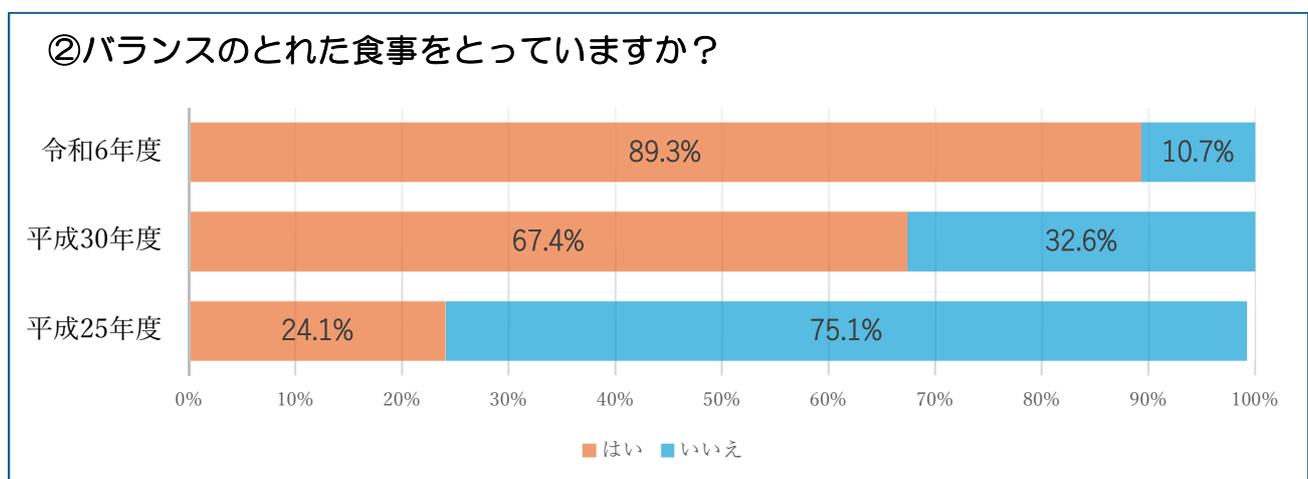
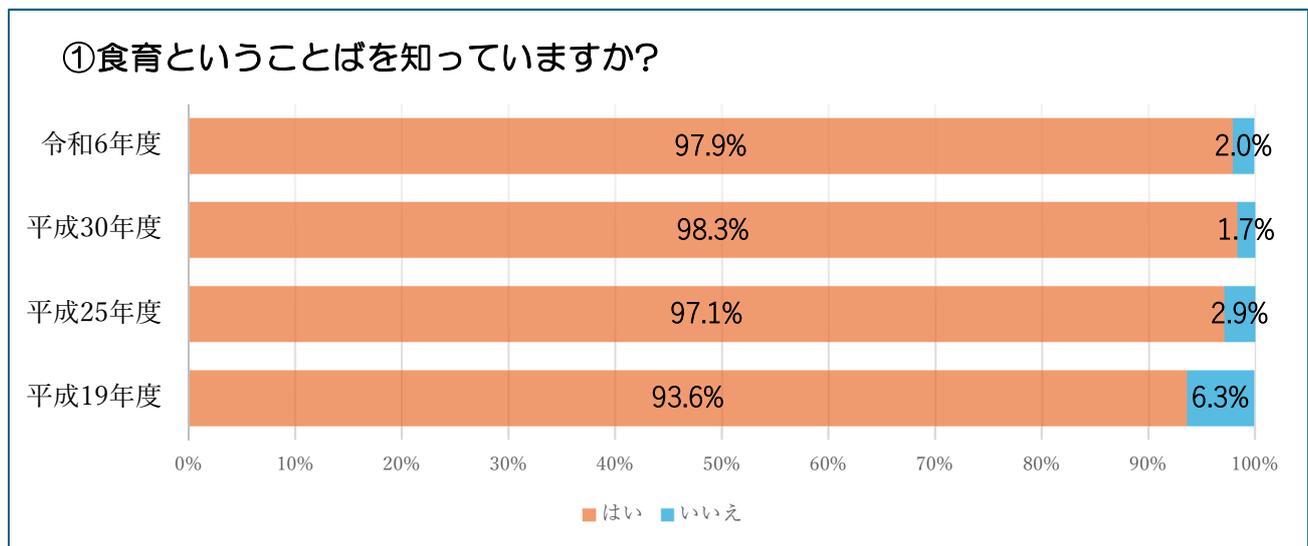
(6) 結果等の見方

回答結果の単位(%)は、有効サンプル数に対してそれぞれの回答数の割合を少数点以下第2位で四捨五入をしました。無回答、複数回答はそのまま集計したため、合計値が100.0%にならない場合があります。

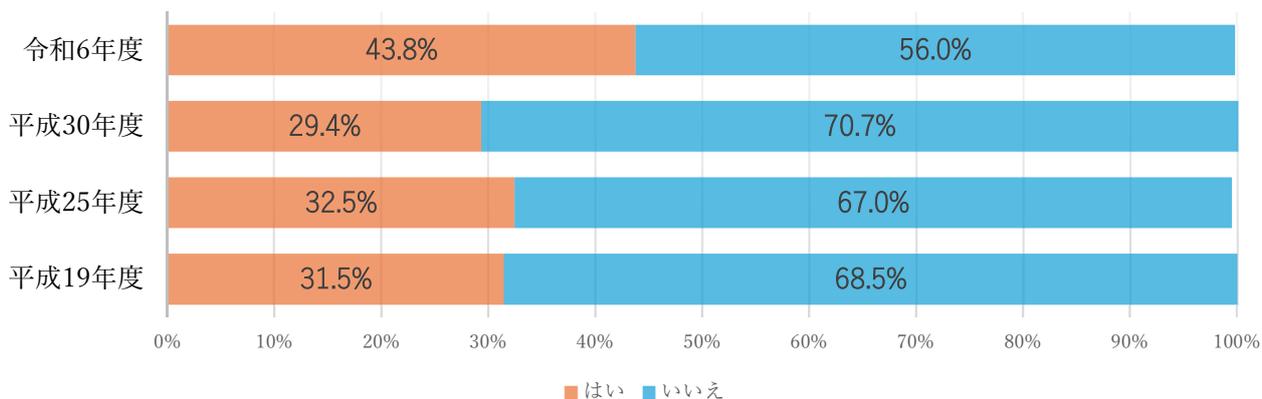
2 アンケートの結果

保護者：日常生活に関する食の意識

「食育」という言葉を知っている保護者は97.9%でした。前回より0.4ポイント少なくなっています。問2に関しては令和6年度から「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事に心がけていますか?」という問いになり、前回までの「バランスのとれた食事をとっているか」と全く同じ内容とはいええないものの、前回の「はい」67.4%から、89.3%とおおよそ20ポイントの増加がみられました。問3は前回まで「毎日」「週3・4回」「週1・2回」「なし」の選択肢でしたが、今回は「はい」「いいえ」の2択としています。その結果「はい」は43.8%となり、「定期的に運動していない」は前回の70.7%から56%に減少しています。



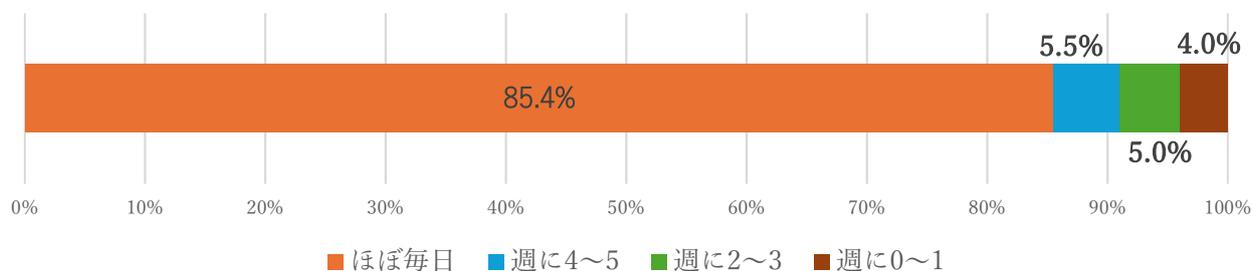
③定期的に運動していますか？



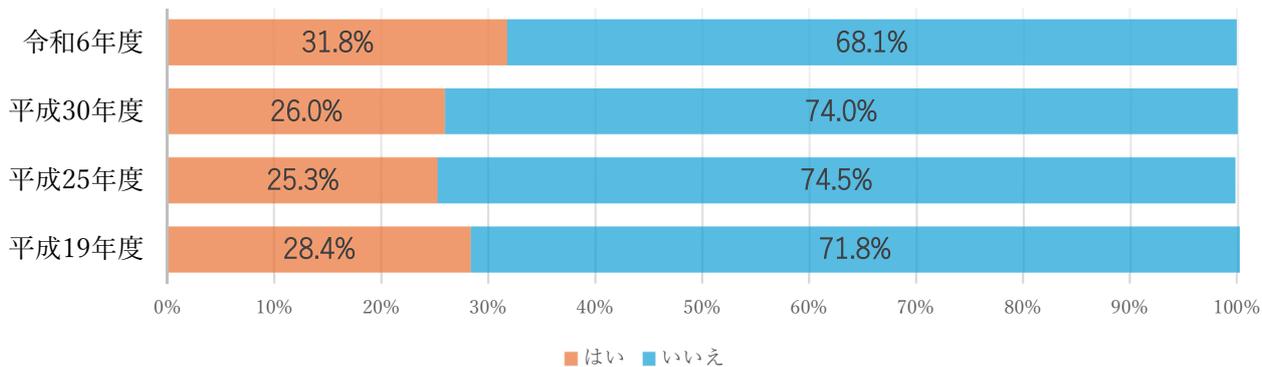
保護者：家族の食事に関する意識

今回、保護者自身の朝食摂取の質問紙が加わっています。結果は、朝食摂食率「とっている」が85.4%でした。「家族にも朝食をとらない人がいる」は31.5%あり、前回の26%より5.5ポイント増えています。また、「家族と一緒に食事をする」は「毎日」が82%であることから、子どもだけで食事をする場面がうかがえます。

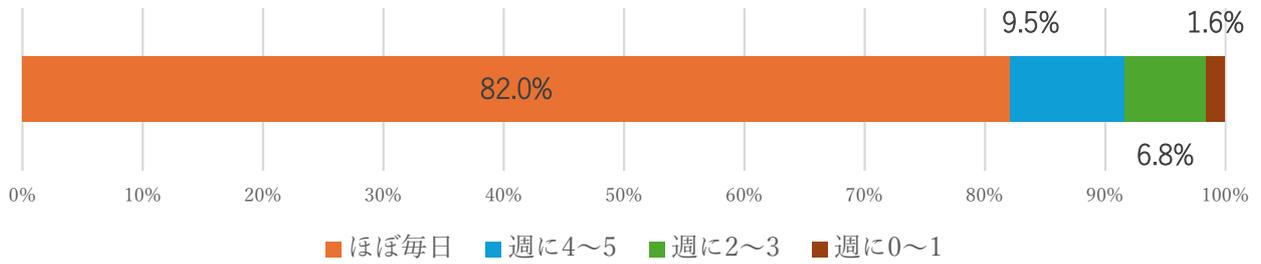
④朝食を毎日とっていますか？



⑤家族の中で朝食をとらない人はいますか？



⑥朝食または夕食を家族と一緒に食べていますか？

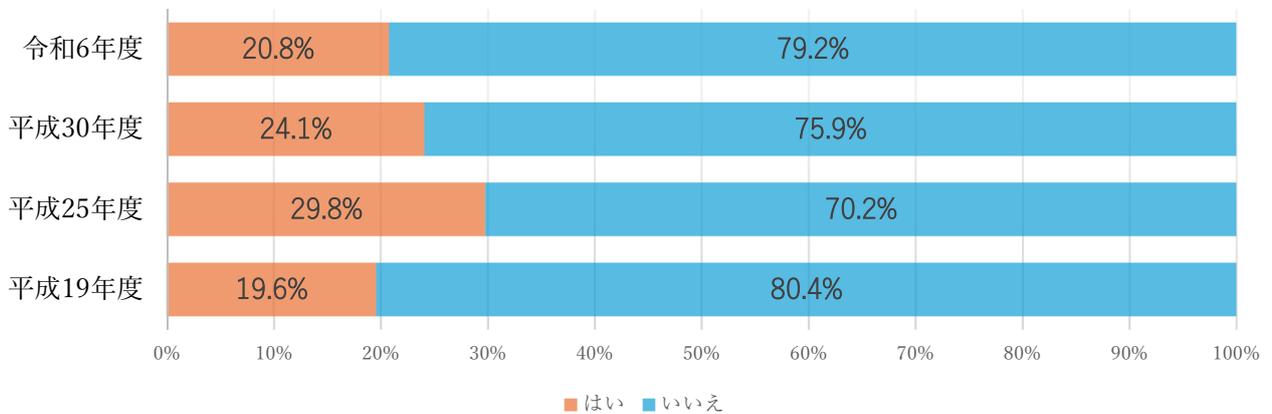


保護者：地産地消に関する意識・行動

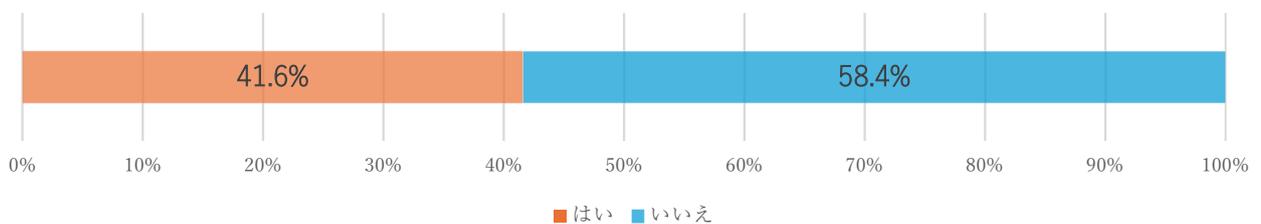
「愛知県産の農産物を選んで購入している」は前回より3.3ポイント減少し、前々回よりは9ポイント減っています。「『きよすふるさとのやかた』で地元農作物を売っていることを知っている」は41.6%あり、「給食に地元の農作物が利用されていることを知っている」は63.2%でした。食材を選ぶ時の視点としては「見た目」「鮮度」が良いものを選んでおり、次に「産地・生産者」であり、次に「金額」となりました。

また、今回は保護者にも「田植えや稲刈り、芋堀り等の農作業の経験」を聞いています。その結果69.3%の保護者が農作業の体験をしたことがあると回答していました。

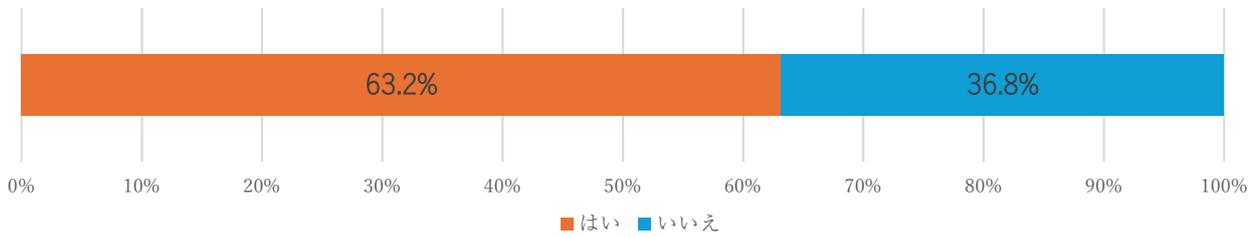
⑦愛知県産の農産物を選んで購入していますか？



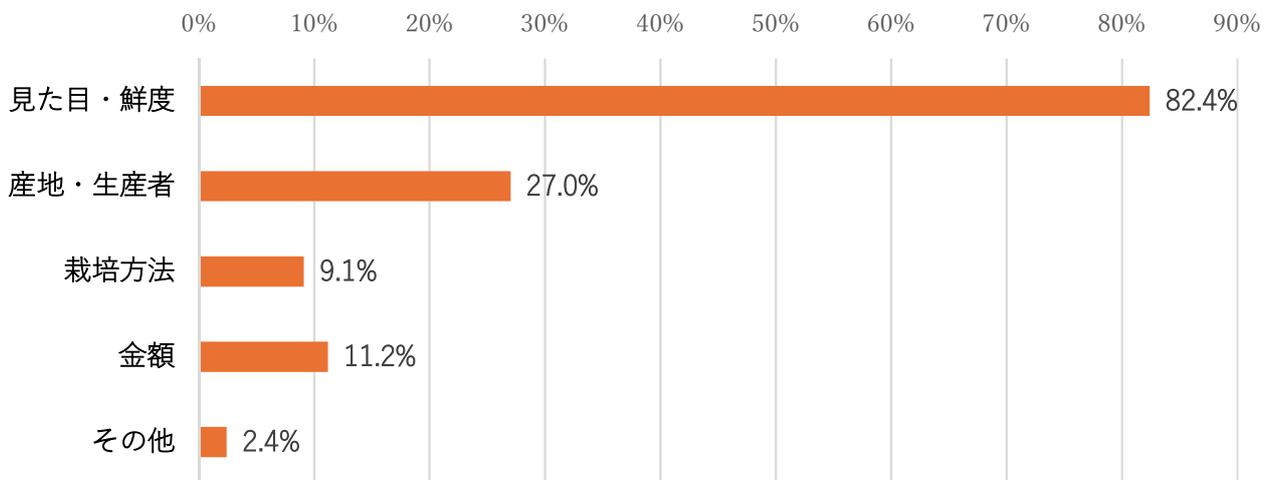
⑧「きよすふるさとのやかた」で清須市産野菜が販売されていることを知っていますか？



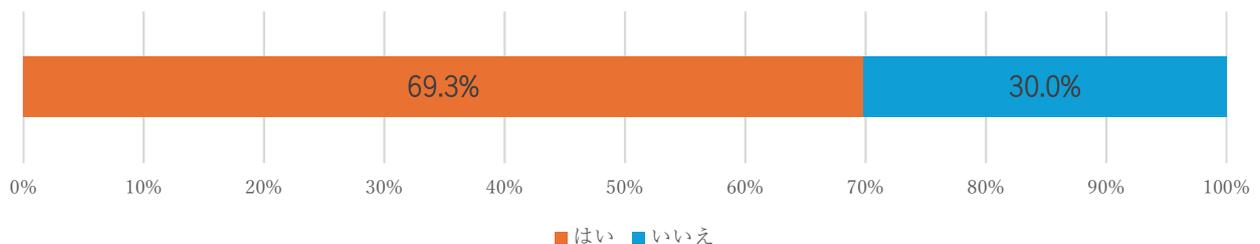
◎給食に清須市産野菜が使われていることを知っていますか。



⑩食料品を購入するときに何を意識して買いますか。



⑪田植えや稲刈り、芋掘り等の農作業の経験がありますか？

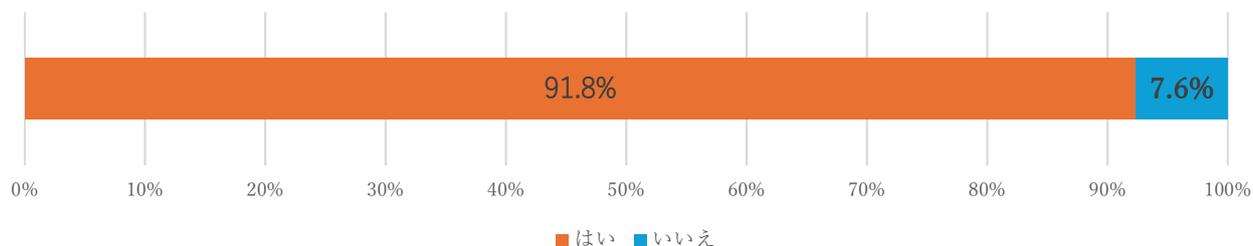


保護者：持続可能な開発目標(SDGs)に関する意識・態度・行動

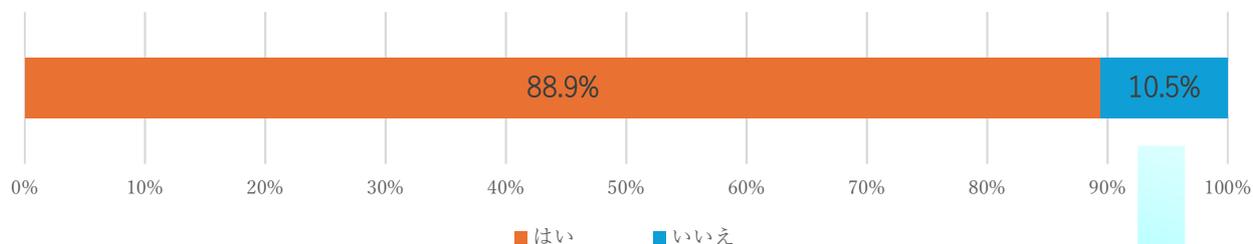
持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みの一つである食品ロスに視点をあて、幼児、小学生、中学生を持つ保護者の意識を調査しました。「SDGsという言葉を知っている」には91.8%の保護者が知っていると回答しています。「毎日の食事を残さず食べる」は88.9%、「食べきれぬ量の

買い物を意識している」は92.3%あり、また、「食品ロス削減のために気をつけている」は79.7%といずれも高い値でした。残す理由としては「作りすぎてしまう」が最も多い結果となりました。

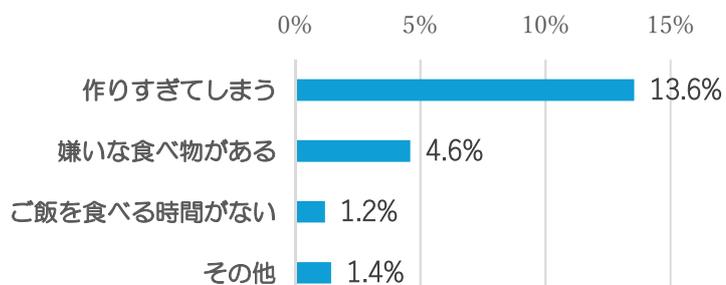
⑫持続可能な開発目標(SDGs)という言葉を知っていますか。



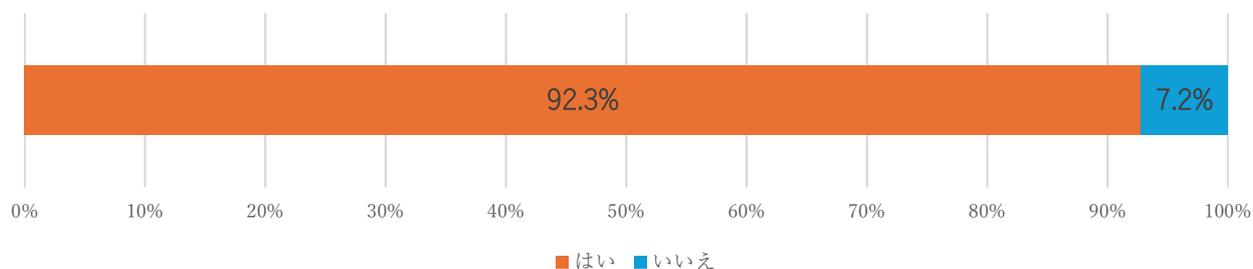
⑬毎日の食事は残さず食べていますか。



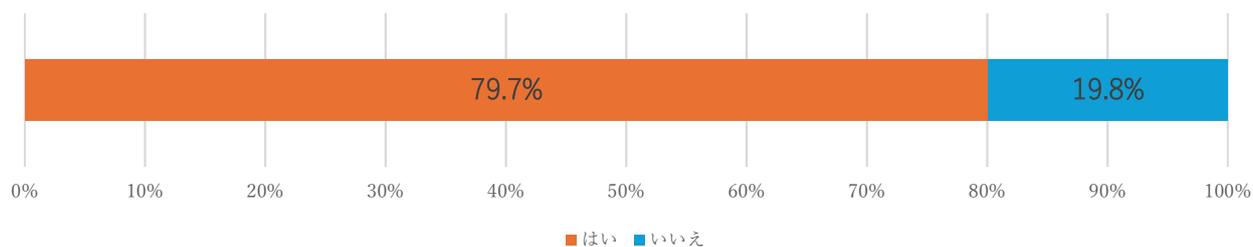
残す理由は何ですか？



⑭食べきれない量の買い物を意識していますか。



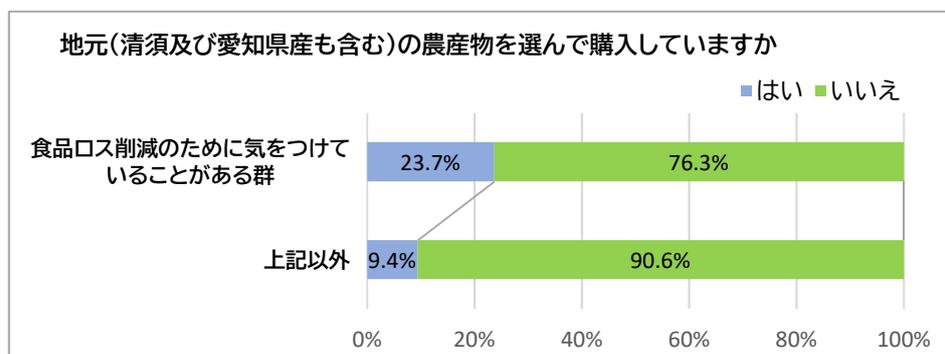
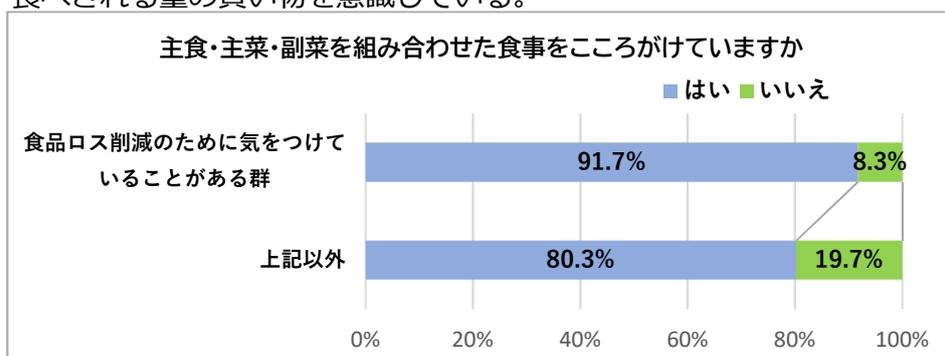
⑮食品ロス削減のために気をつけていることはありますか？



クロス集計結果

「食品ロス削減のために気をつけていることがある群」と「ない群」において、統計的に有意差がみられたのは次の項目である。

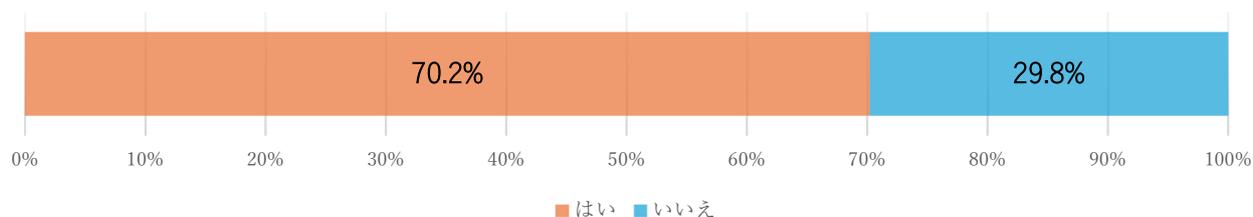
- ・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をこころがけている。
- ・定期的に運動をしている。
- ・地元の農産物を選んで購入する。
- ・給食に清須市産野菜が使われていることを知っている。
- ・「きよすふるさとのやかた」で清須市産野菜が販売されていることを知っている。
- ・田植えや稲刈り、芋掘り等の農作業の経験がある。
- ・毎日の食事を残さず食べる。
- ・食べきれる量の買い物を意識している。



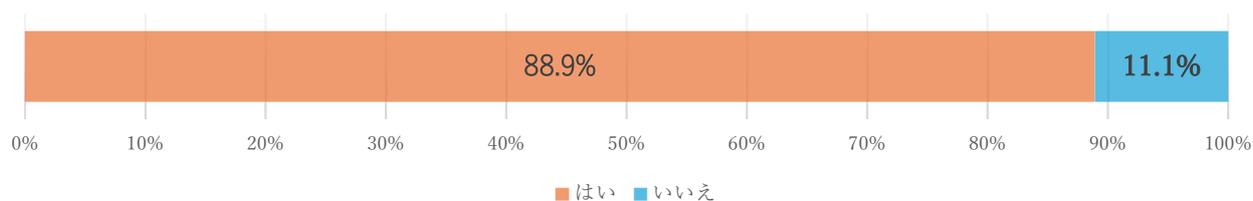
小学5年生：食育に関する態度

いずれも児童へは新たな質問となります。食育ということばを「知っている」は70.2%であり、「バランスのとれた食事をとっている」と考えている児童は88.9%でした。さらに「定期的に運動している」は82.8%あり、いずれも高い値を示しています。

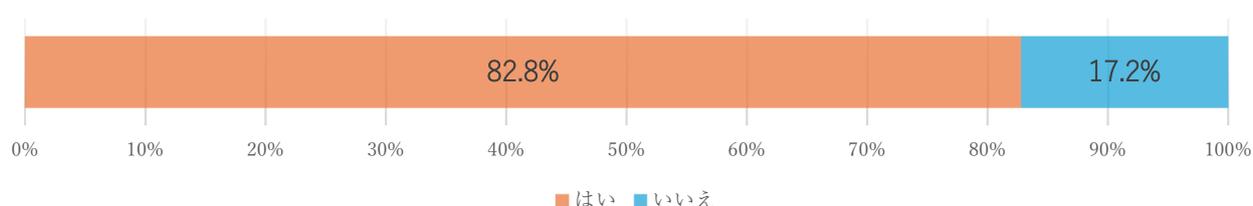
①食育ということばを知っていますか。



②バランスのとれた食事をとっていますか？

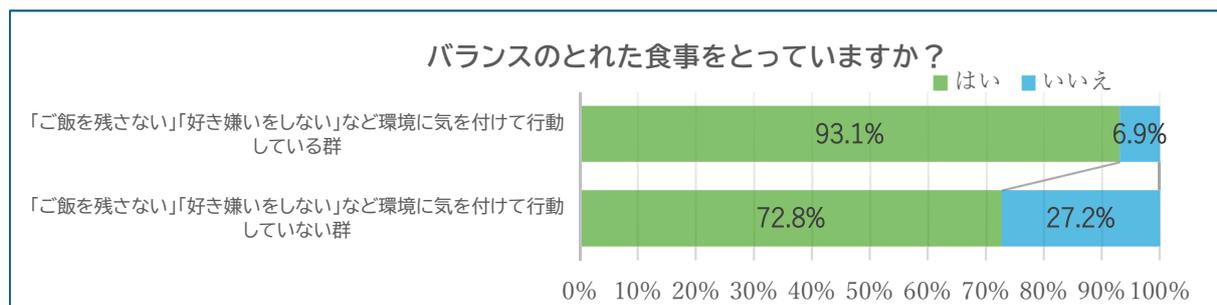


③定期的に運動していますか？



クロス集計結果

「『ご飯を残さない』『好き嫌いをしない』など環境に気をつけて行動している群」と「していない群」では「バランスのとれた食事をとっている」と答えた割合に差が見られた。

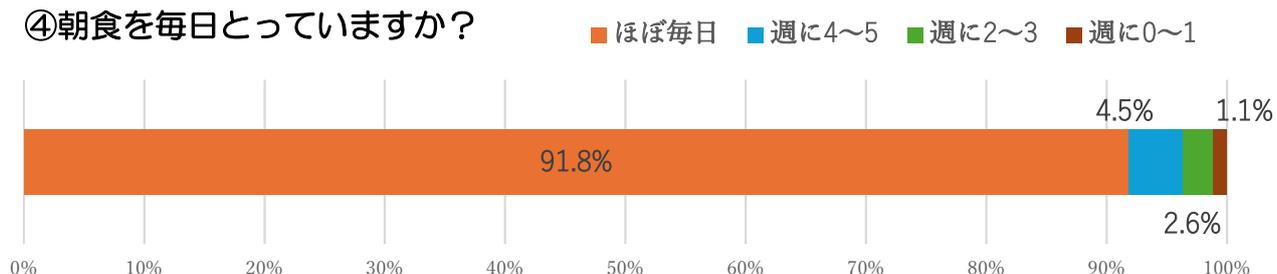


小学5年生：朝食に関する現状・意識・態度

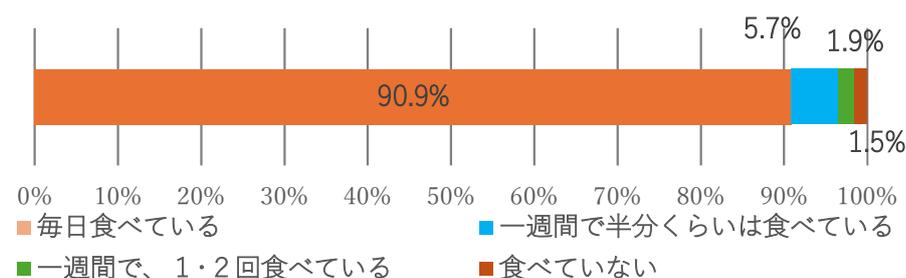
朝食に関する質問では「毎日とっている」は91.8%でした。前回までは「あなたは朝食を食べますか？」の質問に「毎日」は90.9%であったことから、わずかではあるが増加しています。

「朝食をとらない理由」では「時間がない」が多い結果となりました。また、「その他」と回答した児童が14%みられました。今回のアンケートは「ない」の選択肢は外していますので、「その他」を「ない」と同様と考えると少しずつ増えている状況が窺えます。

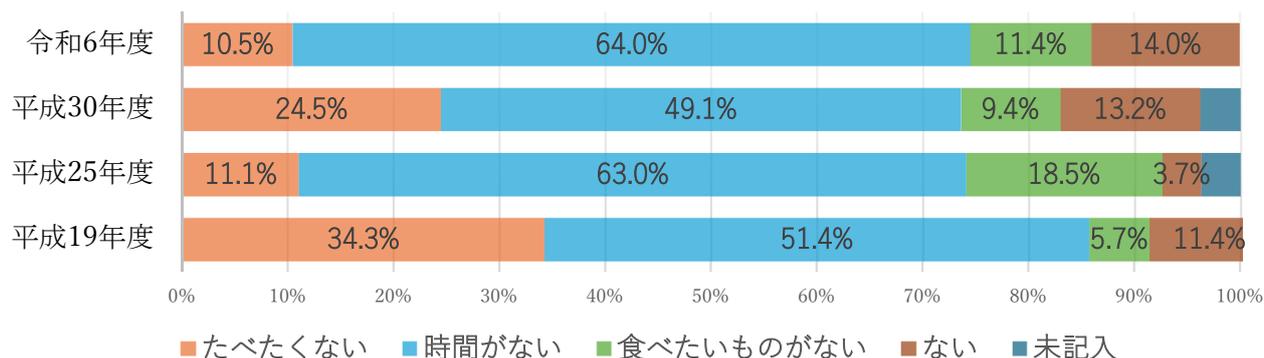
④朝食を毎日とっていますか？



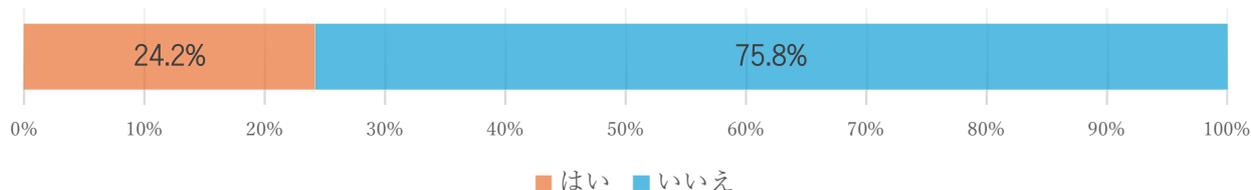
参考：あなたは朝食を食べますか(平成30年度)



朝食をとらない理由は何ですか



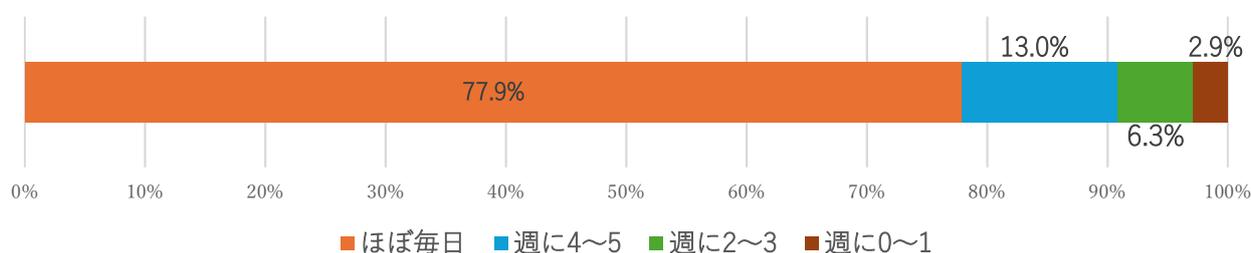
⑤家族の中で朝食をとらない人はいますか？



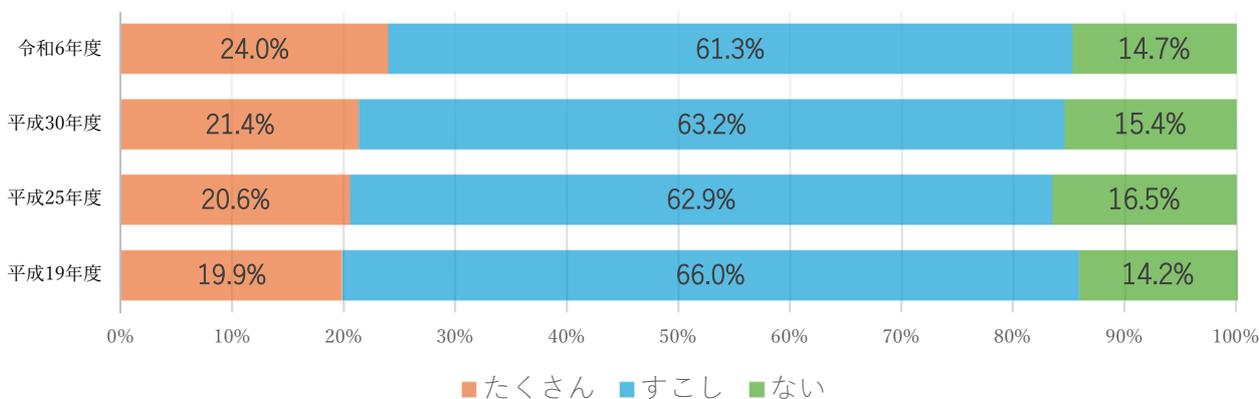
小学5年生：食に関する意識・態度・行動

共食に関する前回の問いは「家族の人と一緒に朝食をとっていますか？」であり、「いつも一緒」が43.5%、「一緒に食べることが多い」は19.9%でした。今回の問い「朝食または夕食」では「ほぼ毎日」は77.9%となりました。一方で「朝食または夕食」を、ほとんど家族と食べない児童は9.2%あることがわかってきました。また、嫌いな食べ物が「たくさんある」児童は2.6ポイント増えたことや「農作業の経験」が徐々に減る傾向がみられました。

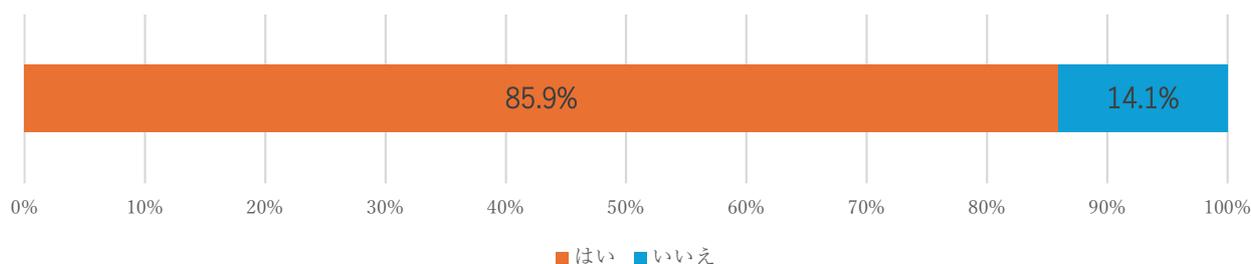
⑥朝食または夕食を家族と一緒に食べていますか？



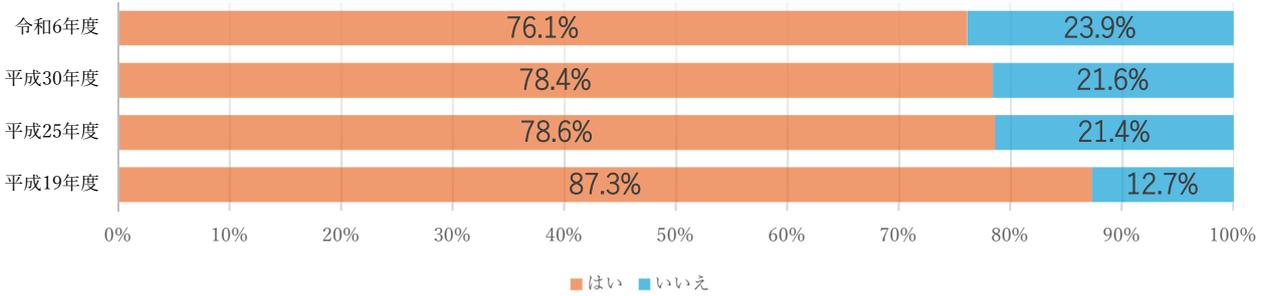
⑦きれいな食べ物はありますか？



⑧学校給食に清須市産野菜が使われていることを知っていますか。



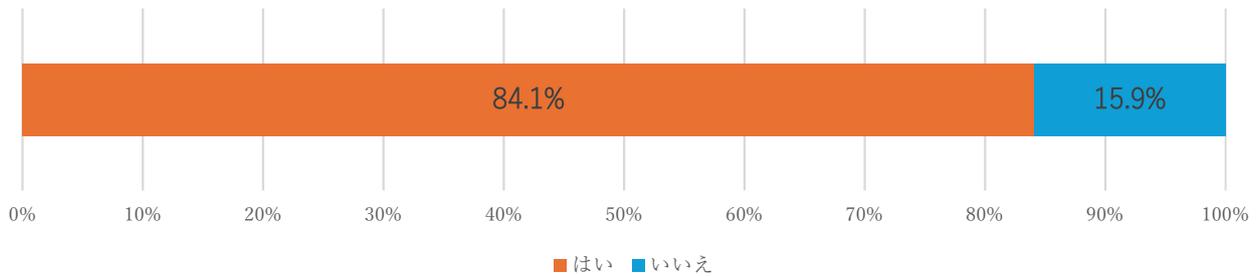
◎田植えや稲刈り、いも堀りの農作業の経験がありますか？



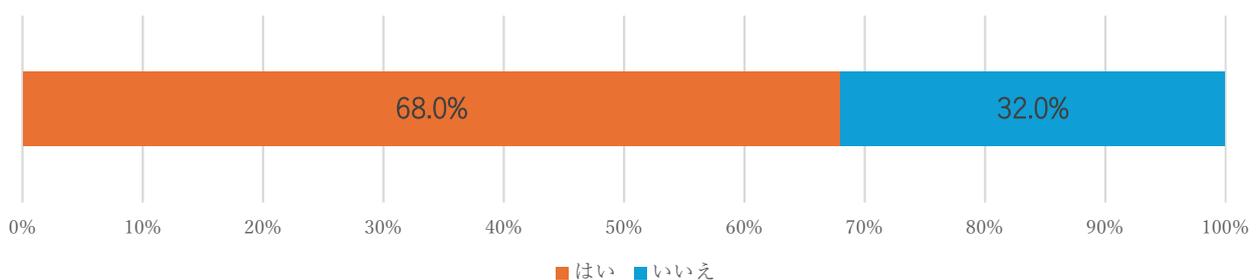
小学5年生：持続可能な開発計画(SDGs)に関する意識・行動

持続可能な開発計画(SDGs)を知っている児童は84.1%でした。関連のある「毎日の食事は残さず食べる」の質問には「食べる」が68%あり、「残す」児童は32%でした。残す理由は「嫌いな物がある」が53.7%と最も多い結果となりました。その一方で、『『ご飯を残さない』『好き嫌いをしない』ことに気をつけて行動している』という意識をもつ児童は79.4%ありました。

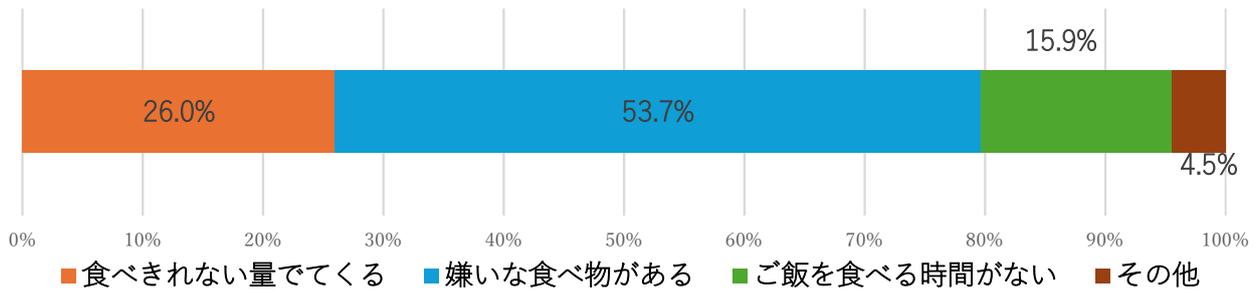
⑩持続可能な開発目標(SDGs)という言葉を知っていますか。



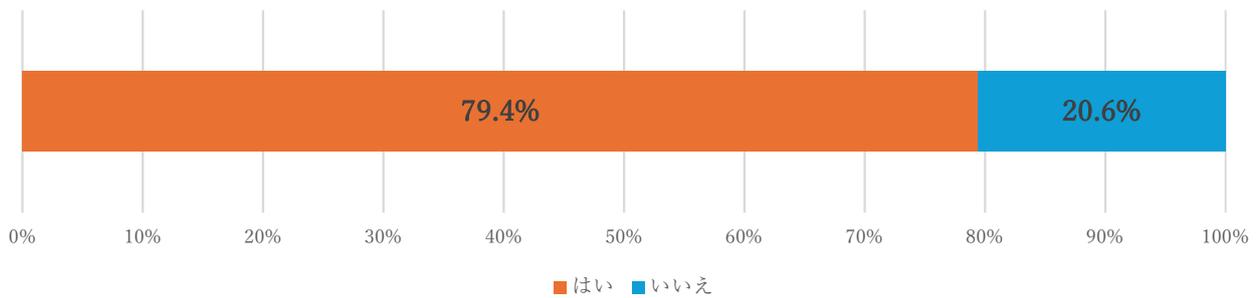
⑪毎日の食事は残さず食べていますか。



残す理由は何ですか？



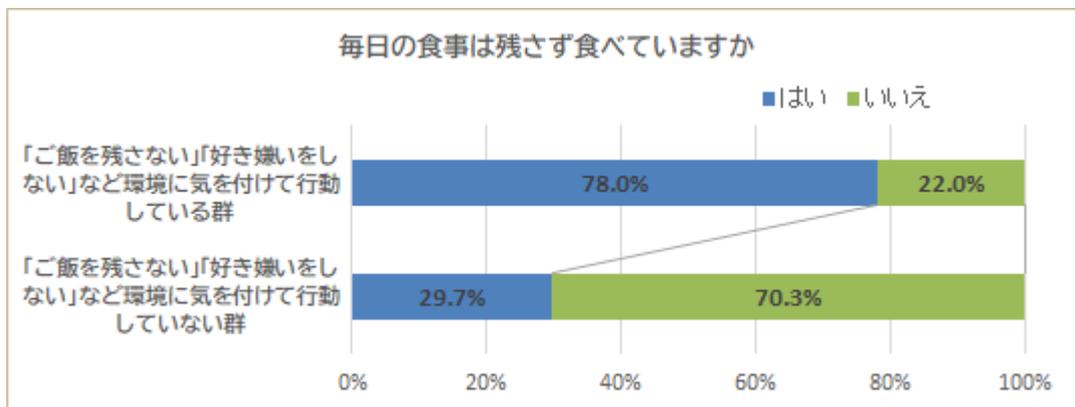
⑫「ご飯を残さない」「好き嫌いをしない」など環境に気をつけて行動していますか。



クロス集計結果

「『ご飯を残さない』『好き嫌いをしない』など環境に気をつけて行動している群」と「行動していない」群の間に有意な差がみられた項目は次のとおりである。

- ・バランスのとれた食事をとっている。(11 ページに掲載)
- ・定期的に運動をしている。
- ・学校給食に清須市産野菜が使われていることを知っている。
- ・毎日の食事は残さず食べている。



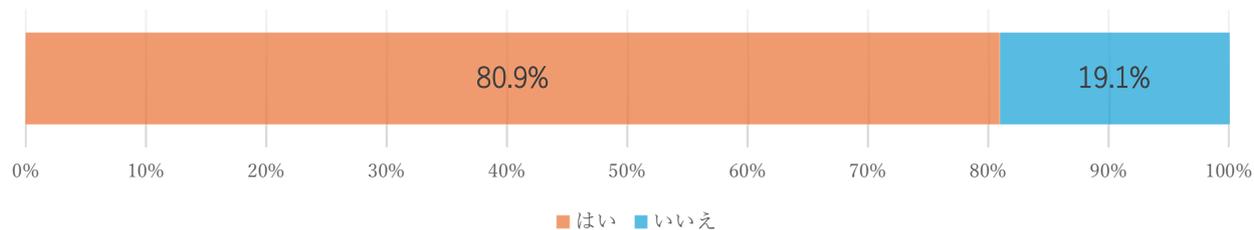
中学2年生：食育に関する態度

今回のアンケートでは81.1%の生徒が「食育ということばを知っている」と答えていました。前回とほぼ変化はないといえます。新たな問いである「バランスのとれた食事をとっているか」「定期的に運動しているか」については「はい」はそれぞれ80.9%、78.9%でした。

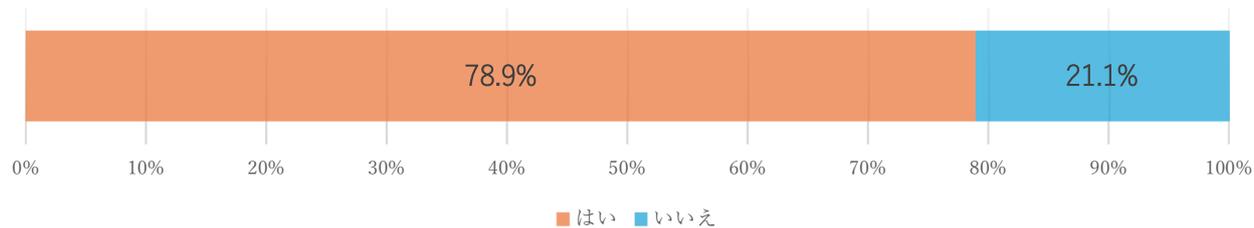
①食育ということばを知っていますか。



②バランスのとれた食事をとっていますか？



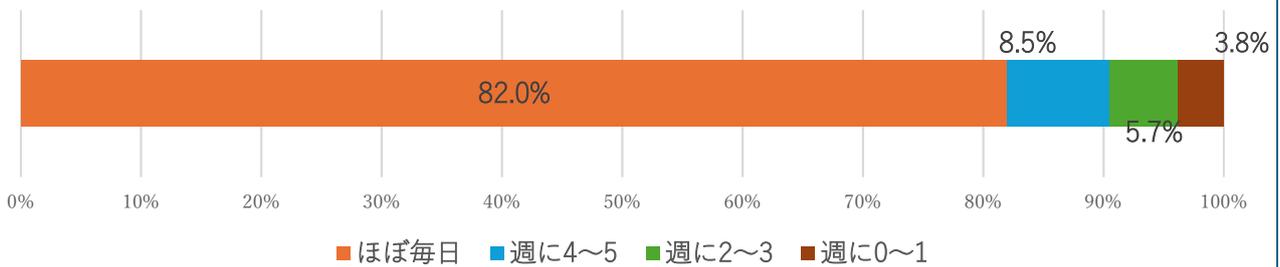
③定期的に運動していますか？



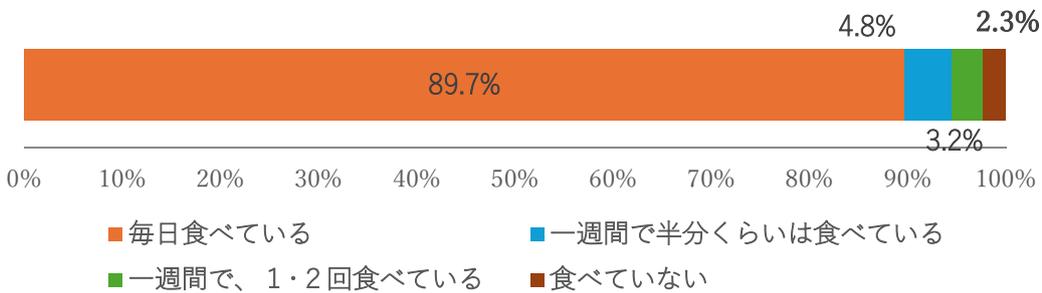
中学2年生：朝食に関する現状・意識・態度

「朝食を毎日とっている」生徒は82%あり、前回の89.7%から7.7ポイント減少しました。ほとんど食べない生徒は9.5%と前回より増えています。「朝食をとらない理由」としては「時間がない」が57.2%と最も多い結果でした。また、「その他」と回答した生徒が13.3%みられました。今回のアンケートは「ない」の選択肢は外していますので、「ない」の選択肢として表示しました。一方、「家族の中で朝食をとらない人」は26.9%の生徒が「いる」と答えています。

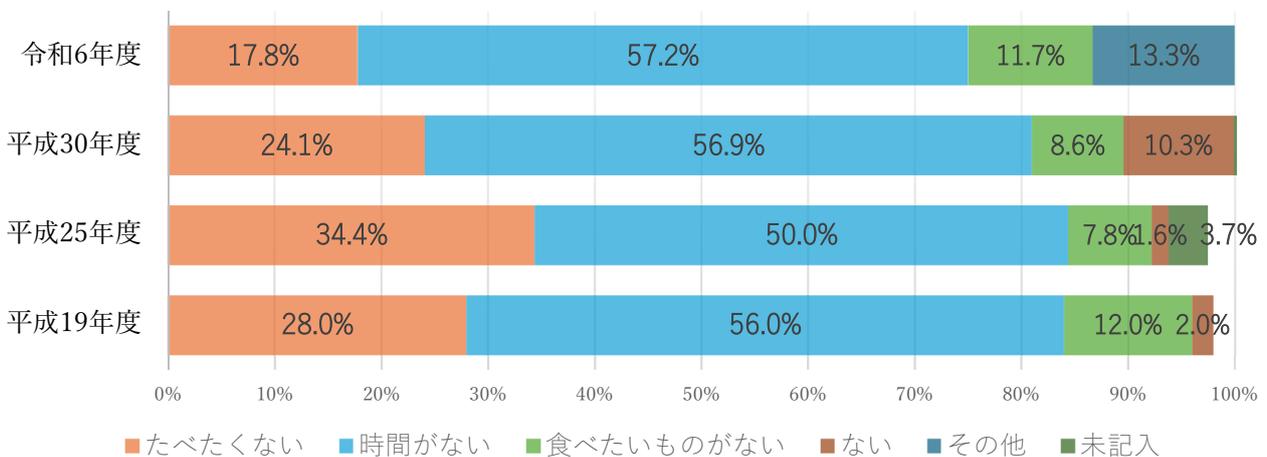
④朝食を毎日とっていますか？



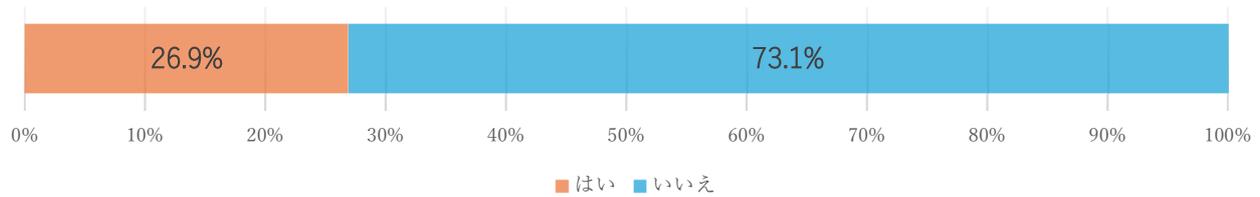
参考：あなたは朝食を食べますか(平成30年度)



朝食をとらない理由は何ですか



⑤家族の中で朝食をとらない人はいますか？



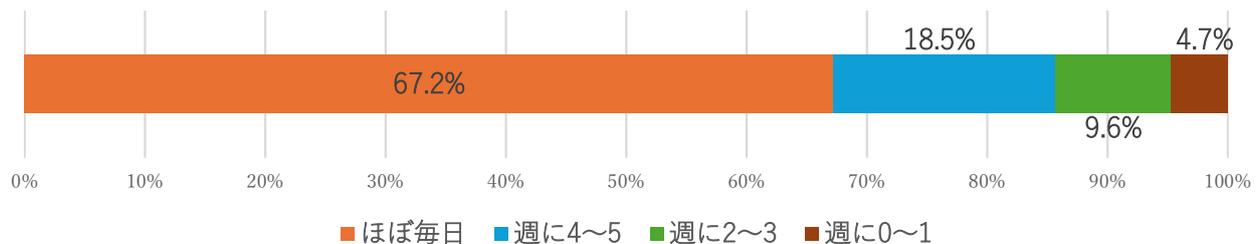
中学2年生：食に関する意識・態度・行動

共食に関する「朝食または夕食を家族と一緒に食べている」の質問では、「ほぼ毎日」が67.2%でした。週に2・3回やそれ以下の生徒は14.3%となっています。「嫌いな食べ物」が「たくさんある」は27.1%と、前回より6.1ポイント増えています。嫌いなものが「ない」生徒も減少しています。その一方でダイエットを気にする生徒はほぼ横ばいとなっています。

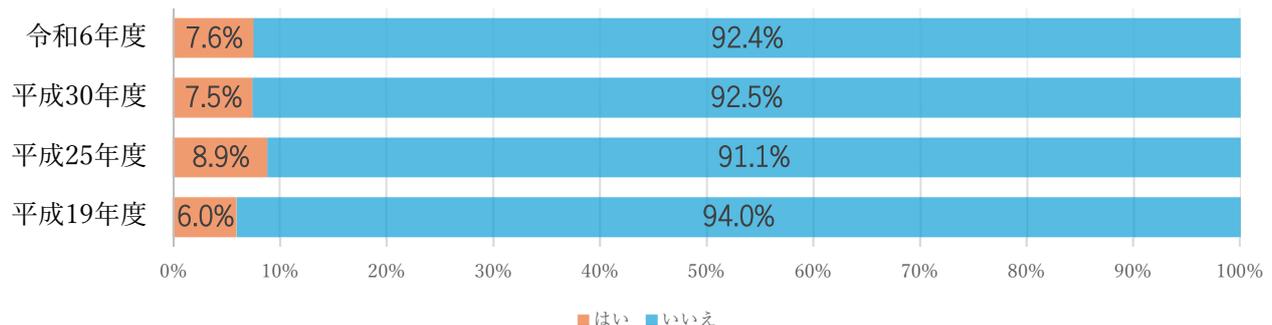
地産地消などについては「きよすふるさとのやかた」で清須市産の野菜を販売していることを知っている生徒は25.3%あり、給食に活用されていることを知っている生徒は86.2%となっています。

「農作業の経験」については「経験したことがある」が59.2%と前回に比べ16.1%減少しました。新型コロナウイルス感染症による体験や集合型活動の縮小の影響が考えられます。

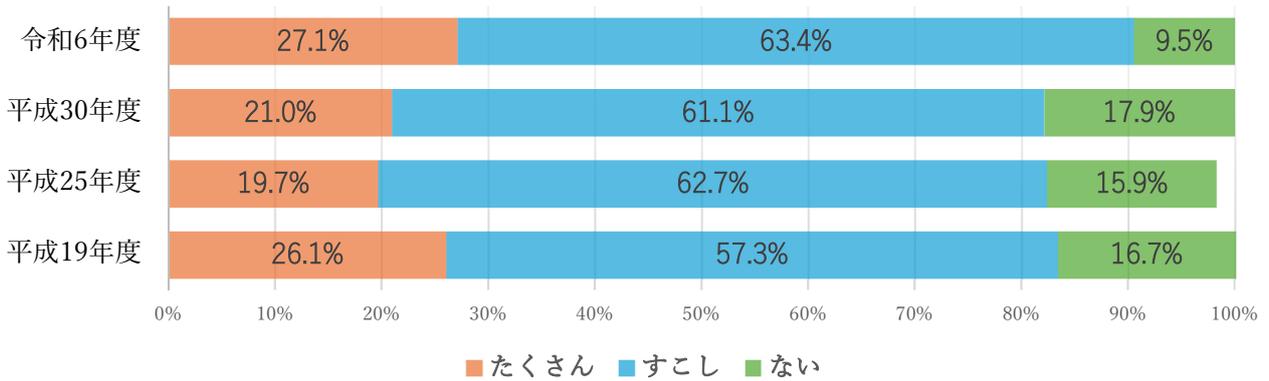
⑥朝食または夕食を家族と一緒に食べていますか？



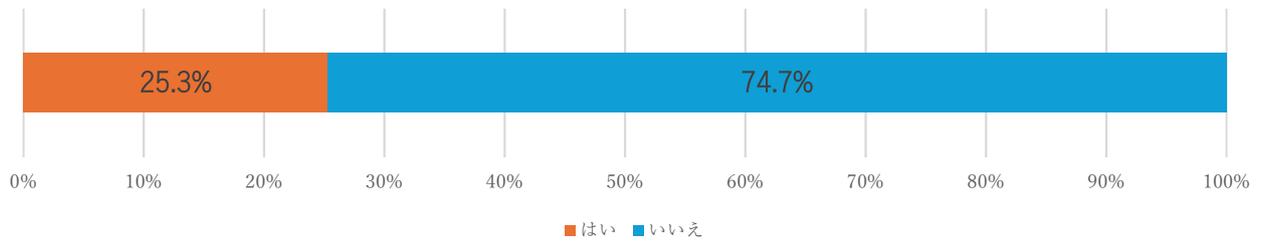
⑧ダイエットを考え、食事をとらないことがありますか？



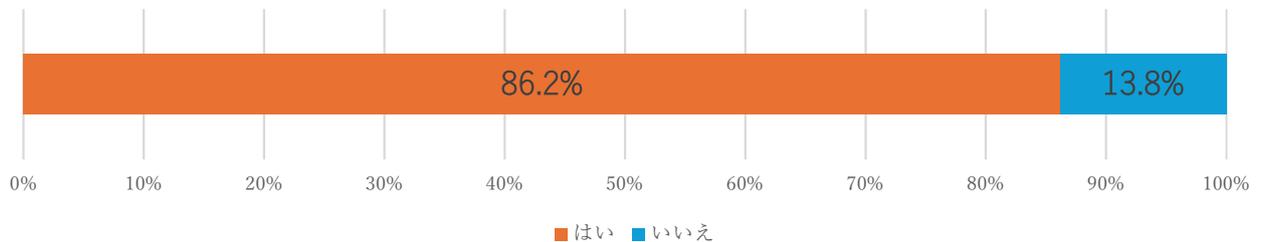
⑦きれいな食べ物はありますか？



⑨「きよすふるさとのやかた」で清須市産野菜を販売していることを知っていますか？



⑩学校給食に清須市産野菜が使われていることを知っていますか。

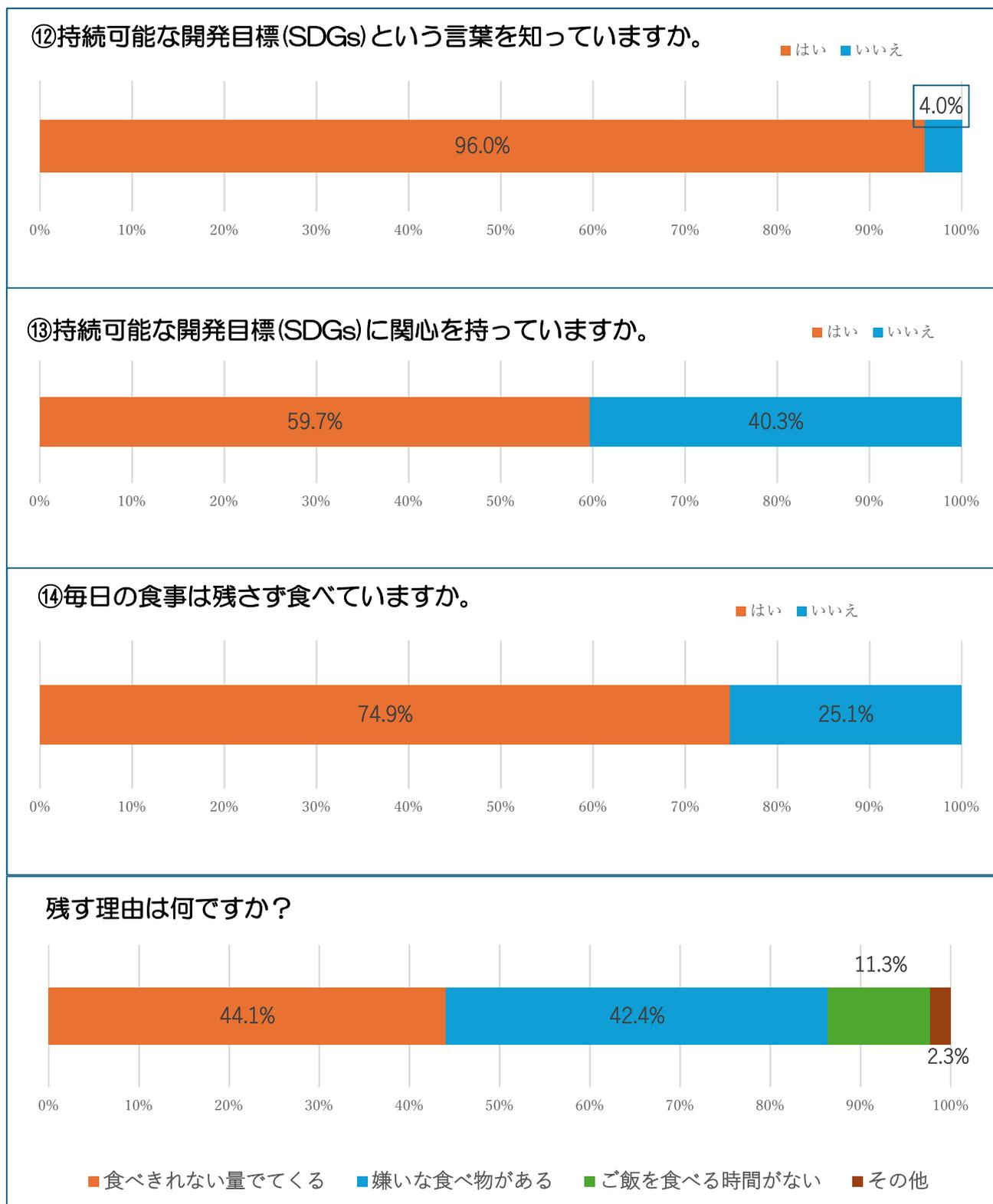


⑪田植えや稲刈り、いも堀りなどの農作業の経験がありますか？



中学2年生：持続可能な開発計画(SDGs)に関する意識・行動

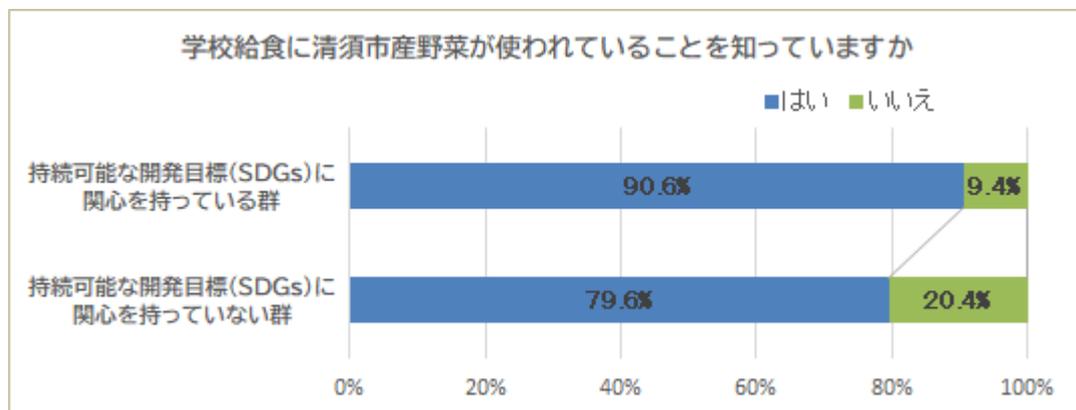
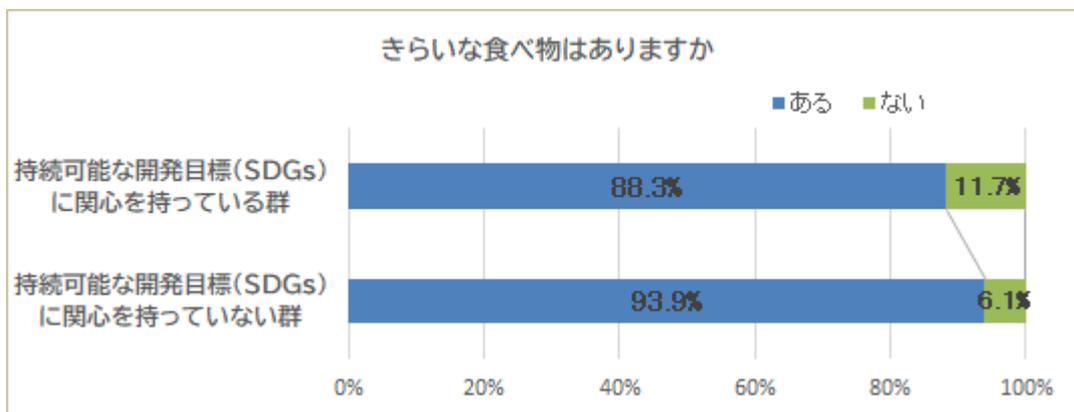
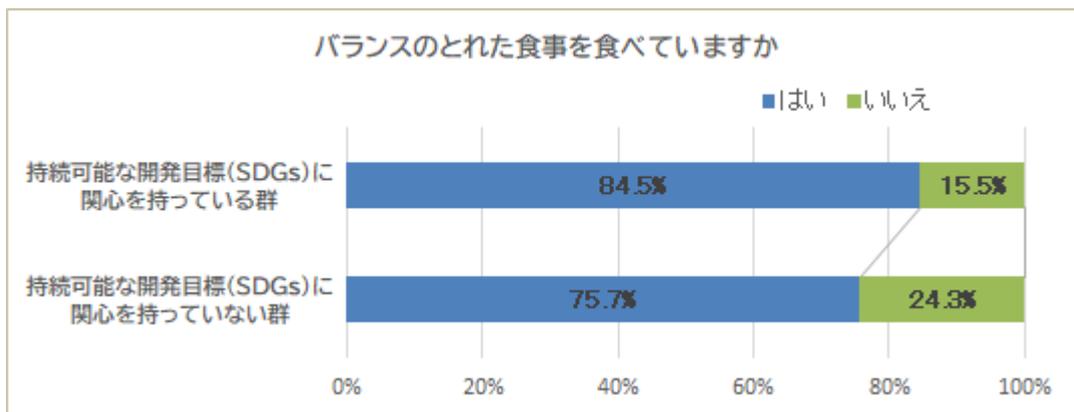
「持続可能な開発目標(SDGs)ということばを知っていますか」は96%であったものの、「関心がある」生徒は59.7%であった。「毎日の食事を残さない」は74.9%であり、「残している」25.1%の理由は、「量が多くて食べきれない」44.1%、「嫌いな食べ物がある」が42.4%でした。



クロス集計結果

「持続可能な開発目標(SDGs)に関心を持っている群」と「関心がない群」に有意差がみられた項目は次のとおりである。

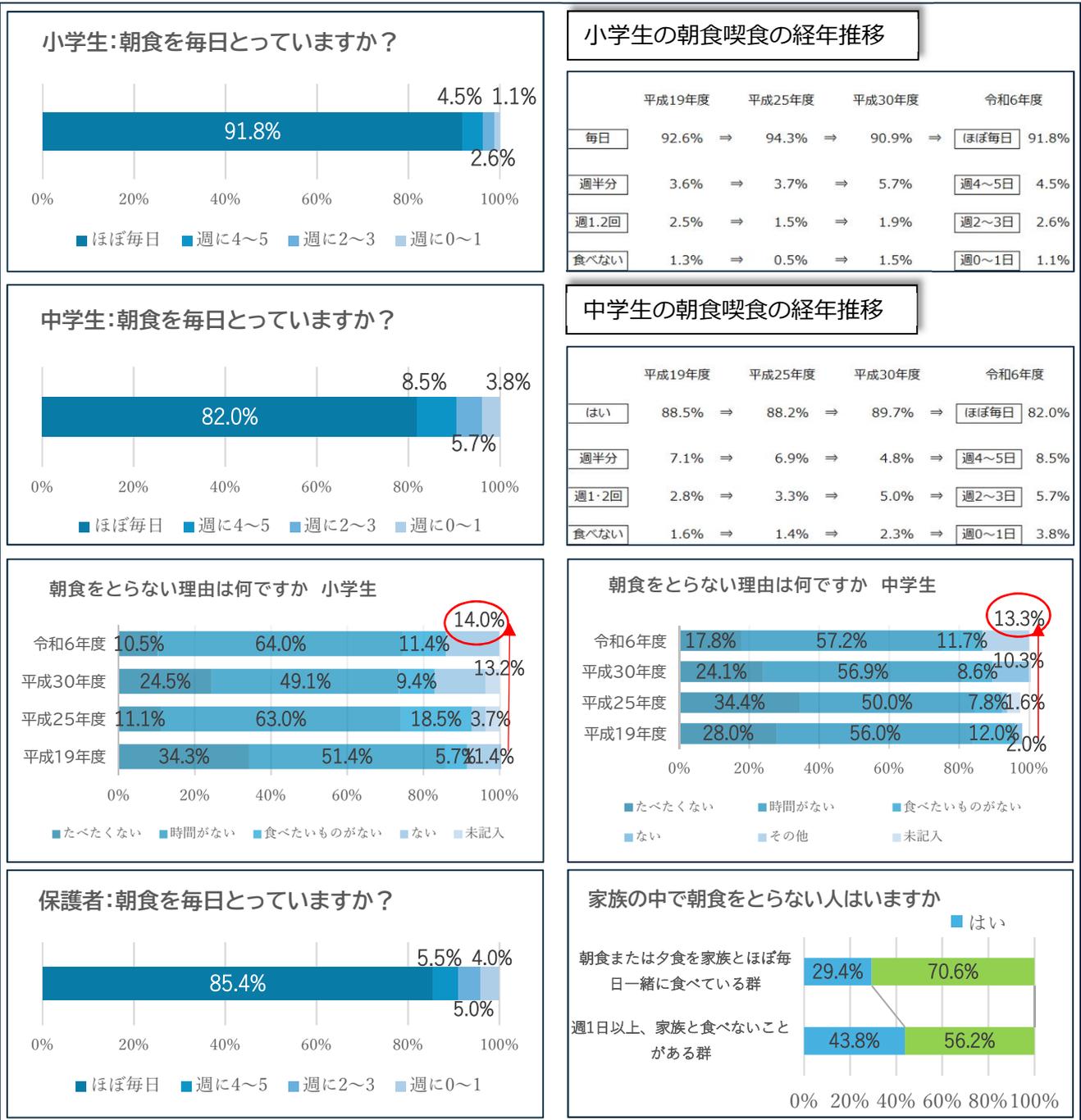
- ・食育という言葉を知っている。
- ・バランスのとれた食事を食べている。
- ・きれいな食べ物が無い。
- ・学校給食に清須市産野菜が使われていることを知っている。



3 検証と課題

検証 1

小学生の朝食喫食率はほぼ横ばいの傾向にあるものの、中学生は減少傾向にあります。朝食をとらない理由はいずれも「時間がない」が最も多く、「食べたくない」が次に多い結果となっています。また今回の回答選択肢には「ない」を外したため「その他」がどんな理由であるのか明確にはわかりませんが、過去の回答内容から「ない」という理由もあるのではないかと考えられます。朝食は子どもの生活リズムを作る大切な役割があることから市の食育推進計画では目標値を定めて取り組んでいます。子どもを取り巻く社会環境の変化は子どもの日常の食にも影響を与えていると考えられます。



朝食をとることの意義を十分知らせる手立てが必要です。

朝食の必要性について国は「朝食を毎日食べるとどんないいことがあるの？」として役立つエビデンスを示しています。(農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課)その効用は、①朝食を食べる人は、良い栄養素や食品の摂取量が多い、②朝食を毎日食べることは良好な生活リズムと関係している、③朝食を毎日食べる人は「イライラする」「集中できない」といった訴えが少なく、心の状態を良好に保つことができていた、④朝食を毎日食べることは、高い学力・体力や良好な学習習慣と関係しています、の4点があげられています。これらの研究成果や将来の健康を考えた朝食をとることの意義を知らせていくことが必要です。 <https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/evidence/attach/pdf/index-30.pdf>

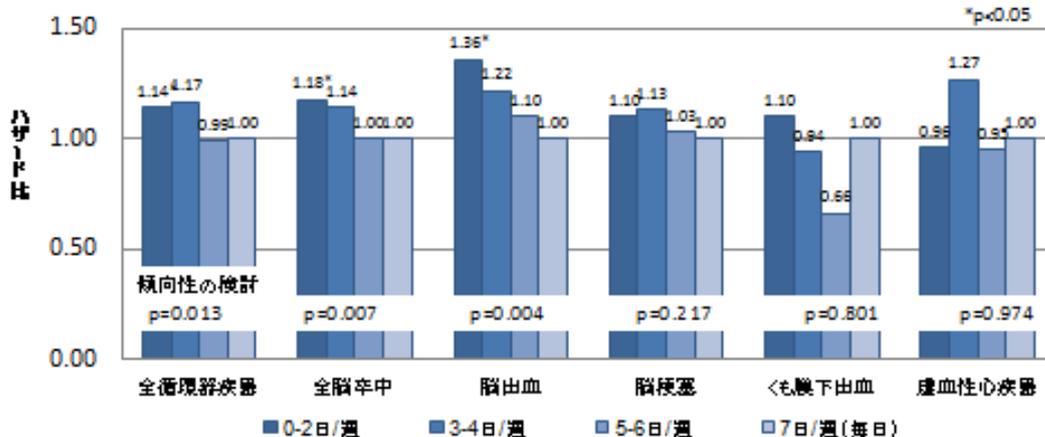
「多目的コホート研究(JPHC 研究)」からの成果報告 (国立研究開発法人 国立がん研究センター)

この研究は朝食欠食により脳出血のリスクが上昇する可能性を示したコホート研究です。

循環器疾患及びがんの既往がない男女 82,772 人の最長 15 年間の結果です。朝食回数を週に0~2回、週に3~4回、週に5~6回および毎日に分けて、脳卒中および虚血性心疾患発症との関連を分析しました。その結果一週間あたりの朝食摂取回数が少ないと脳出血のリスクは高くなることがわかってきました。脳卒中全体では18%、脳出血で36%高くなっていました。

本研究の限界としては朝食摂取回数に関する情報は研究開始時における状況をもとにしていることから、追跡期間中に接触回数に変わった人がいて、それが結果になんらかの影響を与えている可能性があります。

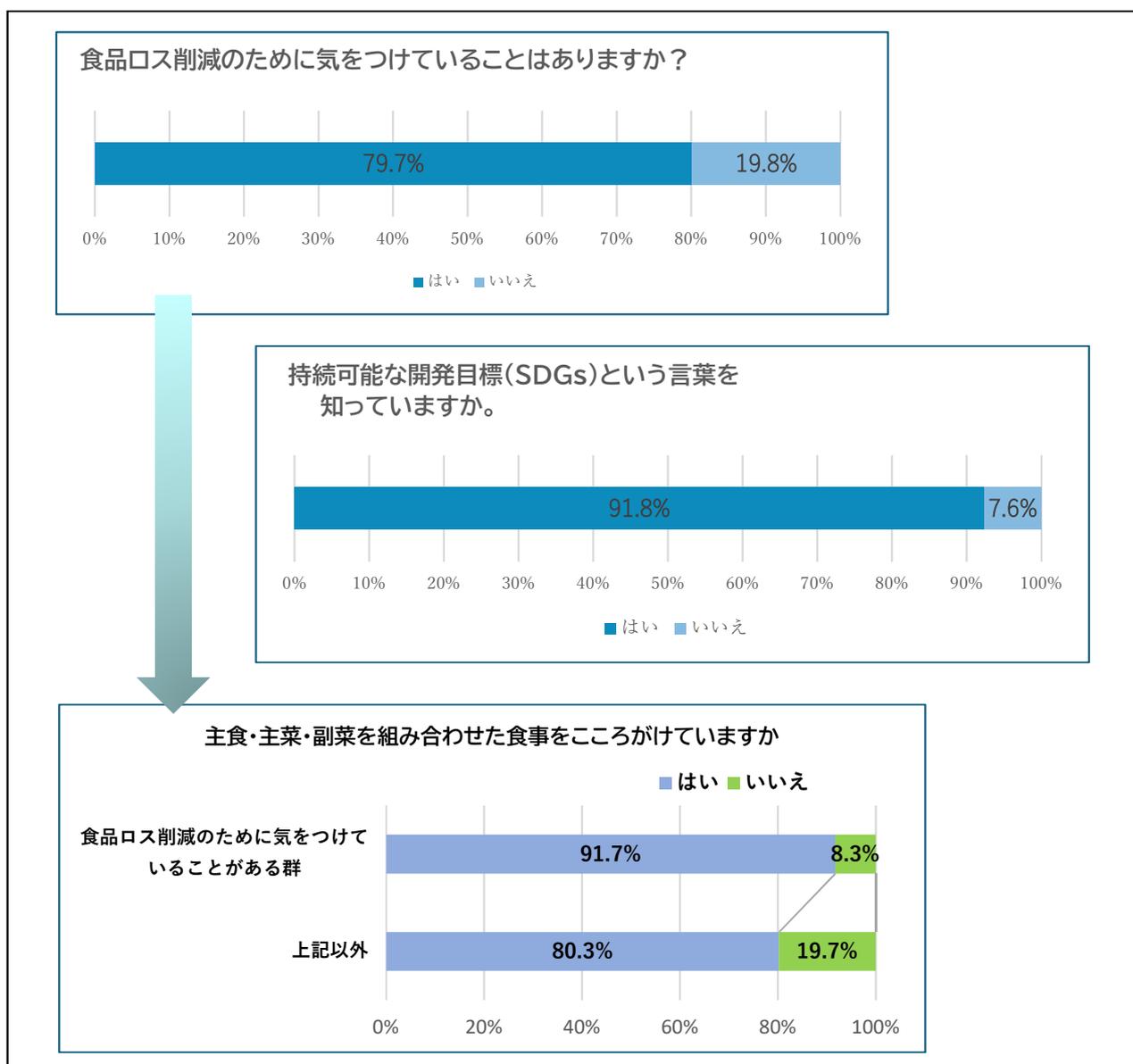
朝食の摂取回数と脳卒中リスク



性別、年齢、肥満指数、喫煙状況、余暇運動、睡眠時間、ストレス、独居、肉体労働、地域、食事内容(摂取エネルギー、アルコール、野菜、果物、魚、大豆、乳製品、ナッツ、飽和脂肪酸、食物繊維、塩)のグループごとの差が結果に影響しないように統計学的な補正を行った。

検証 2

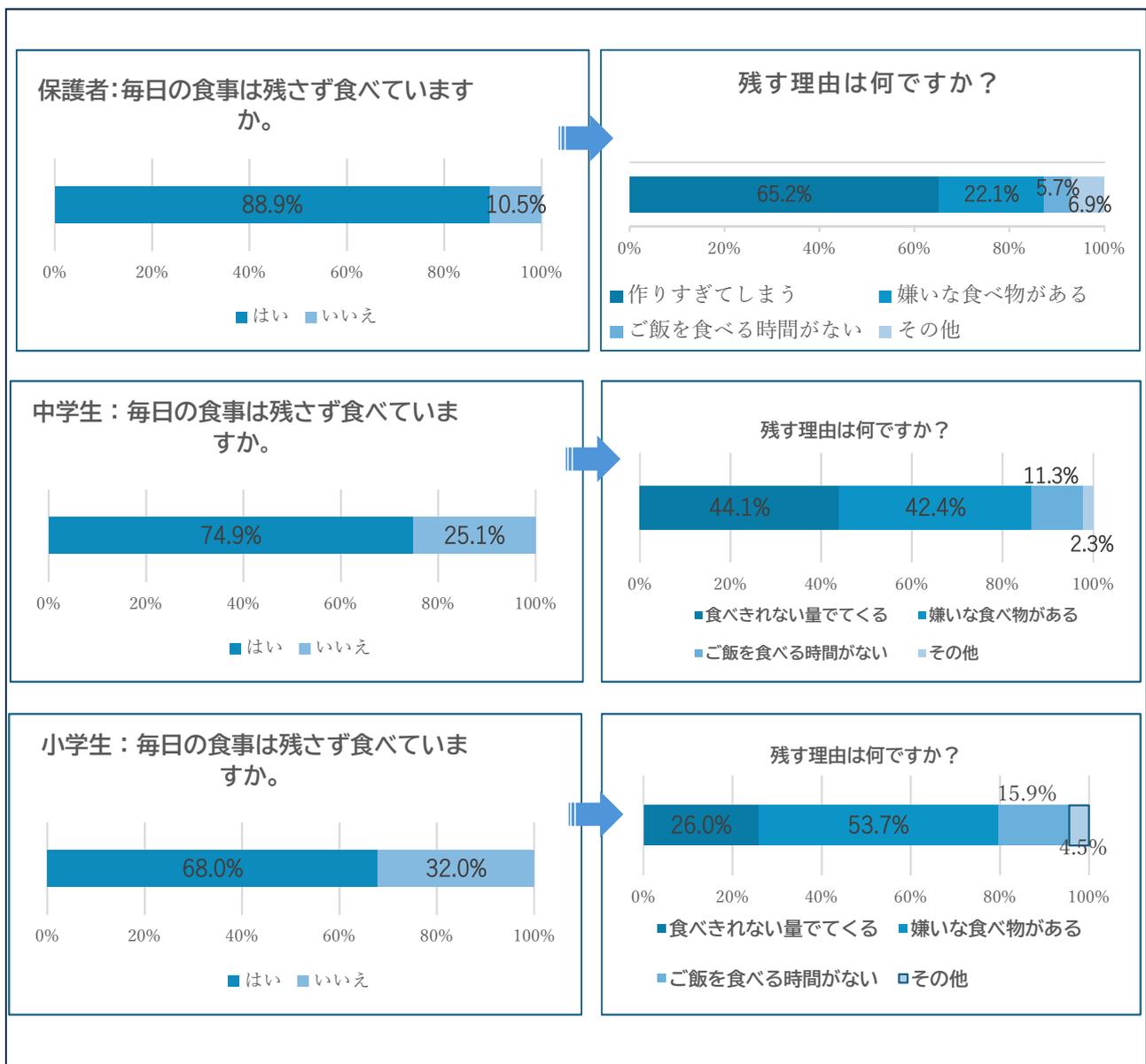
保護者は「食品ロス削減のために気をつけていることがありますか？」の質問に79.7%が「はい」と答えています。これは「持続可能な開発目標無(SDGs)の認知度(91.8%)との関連があることが行動への要因になっているとも言えます。「食品ロス」の質問と他の質問の関係性を見たクロス集計では、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をこころがけている」「地元の農産物を選んで購入する」「『きよすふるさとのやかた』で清須市産野菜が販売されていることを知っている」などの質問に有意差がみられました。すなわち「食品ロス」への行動が食材への関心やバランスのとれた食生活への意識を高くしていることがわかってきました。



課題 2

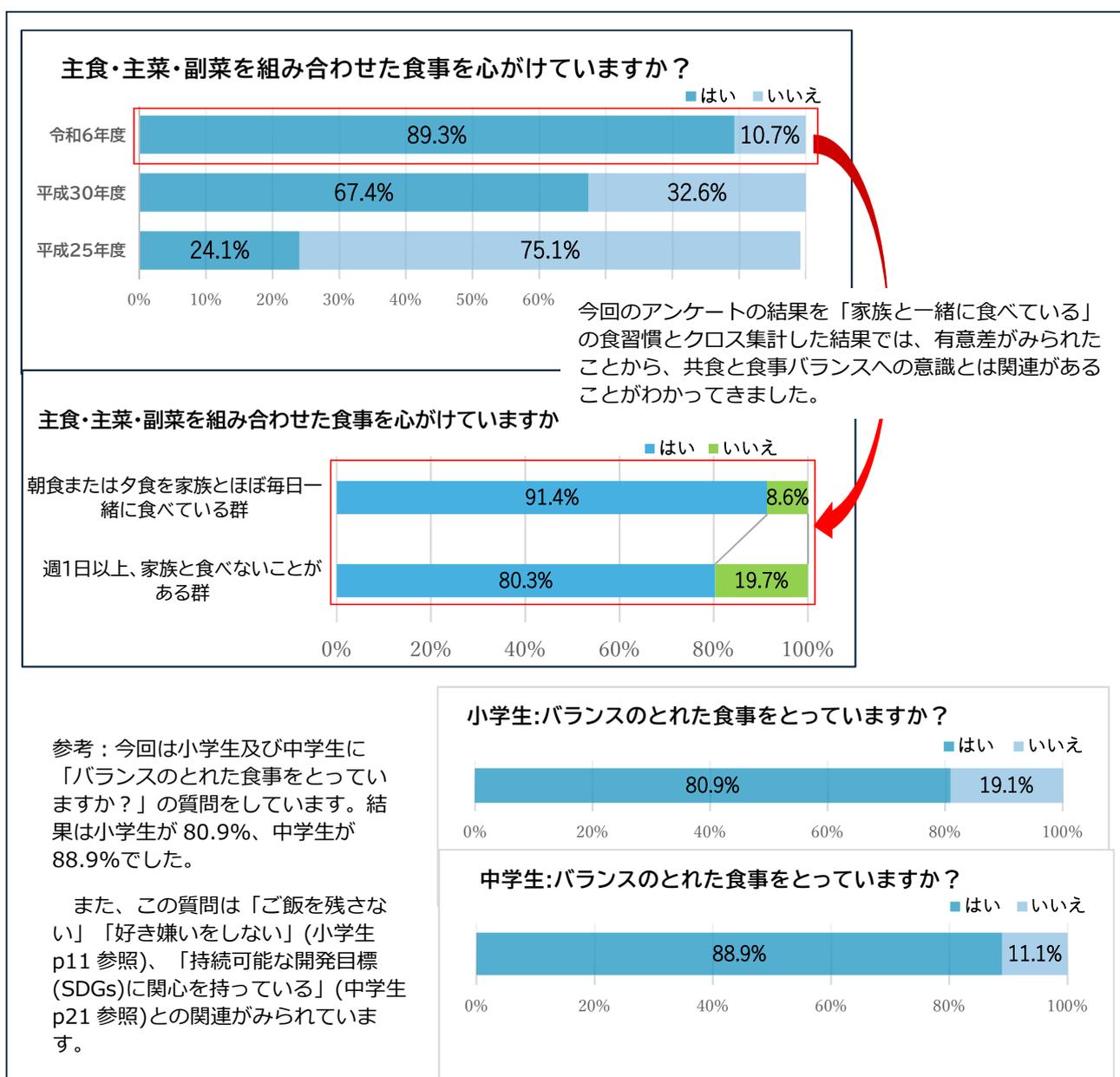
「食品ロス削減」に関するさらなる取り組みが必要です。

「毎日の食事は残さず食べている」は保護者で 88.9%、中学生は 74.9%、小学生は 68%となっており、「残す理由」に保護者は「作りすぎてしまう」「嫌いな食べ物がある」の順に多く、中学生は「食べきれない量」「嫌いな食べ物がある」の順に多く、小学生は「嫌いな食べ物がある」「量が多い」「食べきる時間がない」の順となっています。それぞれ、残す理由が異なります。「食品ロス」については喫食する環境、食べる意欲、食品ロスに関する幅広い知識が必要なことから、残す理由に応じた解決できる手立てを考慮した食育の展開が必要です。



検証 3

前回までのアンケートは「バランスのとれた食事をとっていますか？」でしたが、今回は「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を心がけていますか？」としました。「とっていますか？」の行動を聞いた前回の質問では、67.4%が「とっている」と回答しており、前々回の24.1%に比べ大幅に増えていました。今回は「こころがけていますか？」であることから「意識」を聞いた質問となり、その結果「はい」と回答された方は89.3%でした。食事の「バランス」には味や調理形態、栄養素や食材など多種多様な意味が含まれることから、「主食・主菜・副菜」と限定し、具体的に提示したことは食育の啓発に役立つものと考えられます。今後は、国の食育基本計画の方向性の根拠となるアンケートにある「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上とっていますか？」のように、行動につながる内容を質問項目とすることが望まれます。



課題 3

「主食・主菜・副菜」に関する情報の提供が必要です。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事は、栄養バランスのとれた食生活と関係していることが様々な論文から明らかになっています。農林水産省が作成したパンフレット『『食育』ってどんないいことがあるの?』には多くの論文のデータを載せて「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をするとこんないい」ことを示しています。1日2回、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が望まれることから、主食、主菜、副菜についての理解が必要であり、ナッジ理論※をとり入れる等、日常的に意識できる情報の提供方法を検討することが必要になっています。また、小学生、中学生には、学校給食の献立を活用した情報の提供や教科等の学習の充実が必要になっています。

※ナッジ (nudge) とは、英語で「軽くつつく、行動をそっと後押しする」という意味の言葉です。経済的なインセンティブや行動の強制をせず、行動変容を促す戦略・手法として知られており、幅広い場面での応用が注目されています。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事ってどんな食事?



病気と食事パターンとの関係

代表的な食事パターン	食事パターンに関連する食品群 (主に食べている食品群)	がん	循環器 疾患	糖尿病
例 健康型食事パターン	野菜類	↓	↓	↓
	いも類			↓
	果物類	↓	↓	↓
	豆類(大豆・大豆製品)	↓	↓	↓
	海藻類		↓	↓
	魚介類		↓	
例 欧米型食事パターン	肉類・加工肉	↑	↑	
	アルコール飲料	↑		
	高塩分食品	↑		
	油を多く使った料理		↑	



健康型食事パターンは、野菜類、いも類、果物類、豆類、海藻類、魚介類、乳類を主によく食べる人の食事パターンです。糖尿病のリスク低下と関係するのは、野菜類、いも類、果物類、豆類、海藻類をよく食べる組合せです。がんや循環器疾患についても、同様に表を読み取ります。

↓:各病気のリスク低下および↑:リスク増加と関係した食事パターンでよく食べている食品群

*食事パターンとは、食事調査により得られた複数の食品・食品群の摂取量や頻度から統計学的手法を用いて抽出された組合せです。各食事パターンは、いくつかの食品・食品群の摂取と関連していますが、研究ごとに抽出されるパターンが異なるため、研究者はその特徴から食事パターンに命名をして、病気との関係を研究しています。そのため、同じ名前の食事パターンでも研究ごとに定義が異なる場合があります。

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

本計画では、清須市第3次総合計画の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適で魅力あふれる“はぐくみ都市”」に向かって食からの実現を図るため、第3次清須市食育推進計画に引き続き、第4次食育推進計画の目標を「食をとおして、ふれあい、育みあう健康生活のまちづくり」を基本理念とします。

食をとおして、ふれあい、育みあう健康生活のまちづくり

2 計画のめざす姿

清須市の食育は、市民一人ひとりが生涯にわたって健康で心豊かな生活を実現することができるよう、幼児期から食に関心を持ち、食の大切さを学び、食文化の理解を深め、自然の恵みや感謝の心を育むことを目的としています。

従来から進めてきた食育は、保育園、幼稚園、小中学校などの子どもの食にかかわる機関やボランティア団体、生産者、流通業者、消費者などと連携して進めてきました。

食育は「新たな日常」や「デジタル化」とともに新たな場面や新たなかかわり方が求められるようになってきました。実践や体験だけでなく、基本的な食の情報をデジタルから得ることが可能になり、糸で紡ぐように一層強く結びつき、それを広く発信していく事が期待されます。

こうしたことから、第3次食育推進計画で掲げたタイトル「つながってみよう清須のおいしい物語」を第4次食育推進計画では「～広げていこう 清須のおいしい物語～」に改めることにしました。

そしてめざす姿については、

- 一人ひとりが食を正しく理解し、健康な生活を送る
- 食を通してつながり、豊かな環境づくりに参加する
- 地域の食を大切に、伝えていく地域の輪をつくる

とします。

第4次清須市食育推進計画のタイトル

～広げていこう 清須のおいしい物語～

3 取り組みの柱と基本施策

第4次清須市食育推進計画の取り組みの柱は、これまでの本計画の柱を踏襲しつつ、令和6年度のアンケート結果からみえてきた課題の解決に向けて取り組んでいきます。

取り組みの柱

1 食をとおして心身の健康づくりをすすめる

- ① 妊娠期、幼児期そして成長期の食や健康を大切にする環境をつくる。
- ② 若年層からの生活習慣病予防に取り組む。
- ③ 主要栄養素の著しい不足や過剰摂取の予防に取り組む。

2 食をとおして感謝の心を育む

- ① 「いただきます、ごちそうさま」の習慣を身につけ、感謝の心を育む。
- ② 子どもの頃から食のマナー、日本の食の伝統・文化等について学べるようにする。
- ③ 農業体験等を通して、自然の恵みに感謝する心を育むような機会を創出する。
- ④ 生産から食卓までの食育を啓発する交流の場をつくる。

3 食をとおして地域づくりをすすめる

- ① 地元でとれた野菜のよさを理解して積極的に利用できる環境をつくる。
- ② 子どもたちが、生産から食卓までの過程を正しく知ることができる環境をつくる。
- ③ 共食をすることができる環境をつくる。
- ④ 地域で食育を推進するサポーターを養成する。
- ⑤ 生産者との交流による地域づくりを推進する。

4 食をとおして適切な情報の活用の輪を広げる

- ① 食品成分表示、食品衛生について正しい情報を提供する。
- ② 地元野菜や郷土料理などの情報を発信する。
- ③ 市のホームページに「食育だより」を掲載し食と健康の情報を発信する。

基本施策

- (1) 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進
- (2) 持続可能な食を支える食育の推進
- (3) 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進

第4章 目標指標

食育を具体的に進めるにあたって、市民のみなさんが食と健康の関係について十分に理解を深め、それぞれの役割と責務を認識して積極的に実践される目標を設定し、施策を展開していくことが大切です。

清須食育計画第3次では、アンケートの対象である保護者、小学生、中学生にあった目標を定めています。目標とした指標と令和6年度のアンケート結果をお示しします。なお、第1次清須市食育推進計画からの現状値の推移と令和6年度に行ったアンケートの結果は参考資料として別に添付してあります。(P39~P48 参照)

対象	指標	前回 (平成30 年度)	現状値 (令和6 年度)	目標値	評価 ※2
保護者	1 食育という言葉をしてい ますか？	98.3%	97.9%	100%	△
	2 バランスのとれた食事をと っていますか？※1	67.4%	89.3%	70%	○
	3 定期的に運動をしています か？	29.4%	43.8%	毎日 10% 週3・4回 10% 週1・2回 20%	○
	4 家族の中で朝食をとっていな い人はいますか？	26.0%	31.8%	20%	×
	5 愛知県産の農産物を選んで購 入していますか？	24.1%	20.8%	35%	×
小学生	6 朝食を毎日とっていますか？	90.9%	91.8%	100%	▲
	7 田植えや稲刈り、いも堀りな どの農作業の体験がありますか？	78.4%	76.1%	90%	×
中学生	8 食育という言葉をしていま すか？	81.3%	81.1%	80%	○
	9 朝食を毎日とっていますか？	89.7%	82%	96%	×
	10 田植えや稲刈り、いも堀りな どの農作業の体験がありますか？	75.3%	59.2%	90%	×

※1 令和6年度の質問は「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を心がけていますか？」

※2 評価 ○目標値以上 △目標値の5%以内 ▲目標値の10%以内 ×目標値の10%以上

第4次計画の目標値の設定

対象	指標	現状値 (令和6年度)	目標値
保護者	1 食育という言葉をしてしていますか？	97.9%	100%
	2 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を心がけていますか？	89.3%	100%
	3 朝食を毎日とっていますか？	85.4%	95%
	4 家族の中で朝食をとっていない人はいますか？	31.8%	20%
	5 愛知県産の農産物を選んで購入していますか？	20.8%	40%
小学生	6 朝食を毎日とっていますか？	91.8%	100%
	7 野菜の収穫や栽培などの農作業を今までに経験したことがありますか？	76.1%	90%
中学生	8 食育という言葉をしてしていますか？	81.1%	90%
	9 朝食を毎日とっていますか？	82%	96%
	10 持続可能な開発目標（SDGs）に関心を持っていますか？	59.7%	80%

変更点

第5章 食育推進に関する取り組み

市担当課、食育関係団体における食育に関する事業（令和6年度実施）

1 食をとおして心身の健康づくりをすすめる取り組み

名 称	対 象 者	内 容	関係部門
パパママ教室	妊婦とその夫、付き添い等	・妊娠中及び産後の食生活について、試食とレシピの提供	こども家庭課
乳幼児健診での栄養指導	健診対象者及び保護者	・乳幼児及び保護者の望ましい食習慣について指導	
食事に関する講座	市民	・子育て支援センターでの離乳食の進め方についての講座 ・ファミリーサポート会員向け子どもの食事、食物アレルギーの講座	児童保育課 健康推進課
		・高齢者の介護予防のための食事の講座	健康推進課 高齢福祉課 保険年金課
栄養相談、食事なんでも相談	市民	・食事に関する相談	健康推進課
離乳食講習会	5か月から8か月頃の子どもを持つ保護者等	・離乳食についての説明	こども家庭課
しなやか血管づくり教室	市民	・循環器疾患や糖尿病を予防するための運動や食事等について講座を実施	健康推進課
食に関する指導	清須市立保育園・幼稚園児	・子どもたちが楽しく食事のできる雰囲気作りの実施 ・献立食材、食のマナーについてパネルシアター、紙芝居等の視覚的教材を利用しわかりやすく説明	清須市立保育園・幼稚園 学校給食センター

食に関する指導	清須市立小中学校児童生徒	・望ましい栄養や食事のとり方について理解し、自ら管理していけるよう指導する。	学校給食センター 清須市立小中学校
食育講話(給食試食会)	清須市立小中学校保護者	・給食試食会時に食育講話を実施	
給食献立の放送資料作成	清須市立小中学校児童生徒	・日々の給食時間に放送する献立についての資料作成及び配布	
健康講座・料理教室	市民	・男性のための健康講座 ・料理教室や介護予防、カルシウム摂取など、食と健康に関する講話や調理実習	食生活改善推進協議会
食生活チェック	市民	・ベジチェック、塩分チェックを通じて食生活改善を推進する取り組み	健康推進課 食生活改善推進協議会

2 食をとおして感謝の心を育む取り組み

名 称	対 象 者	内 容	関係部門
サツマイモ苗 植え・収穫体 験	保育園園児	・保育園に近い畑において5月に苗植 え、10月に収穫の体験	保育園 産業課 特産物振興委員 会
宮重大根収穫 体験	保育園園児	・宮重大根を農家の畑で収穫体験	保育園 児童保育課 産業課
宮重大根栽培 体験	春日小学校3年 生	・小学校校内畑にて宮重大根の種まき から収穫体験	春日宮重大根純 種子保存会
親子料理教室	市内小学生親子	・調理実習及び食育講和(年2回開催)	産業課
生涯学習講座 (親子対象)	市内小学生親子	・家族ではじめる野外料理とロープワ ーク:飯盒炊爨(はんごうすいさん)とダ ッチオーブンでの料理を体験。 ・和菓子をつくってみよう:和菓子作り を体験。	生涯学習課
親子でチャレ ンジ! 宮重大 根プロジェクト	市内在住・在勤・ 在学の親子	・「宮重大根純種子保存会」の協力のも と、栽培から収穫までの課程を親子で 体験。	市立図書館
農業体験塾	市民	・1年を通して野菜の栽培について学 ぶ(月2回 午前9時～)体験塾を実施	産業課 特産物振興委員 会
レジャー農園 の貸し出し	市民	・土に親しみ、野菜作りを楽しむことが できる貸し農園の実施	産業課
食に関する指 導	清須市立小学校 児童	・テーマ「学校給食を知ろう」	学校給食センター 清須市立小学校

3 食をとおして地域づくりをすすめる取り組み

名 称	対 象 者	内 容	関係部門
学校給食における地場産物の活用	清須市立小中学校児童生徒	・土田かぼちゃ、宮重大根を給食で提供	学校給食センター
地産地消料理教室	市民	・農業体験塾で栽培した野菜など、清須市産野菜を主に使用した料理教室(年2回)	特産物振興委員会
地元産野菜、特産野菜を使った漬物作り、販売	市民一般	・地元産野菜(かりもり)、特産野菜(宮重大根、土田かぼちゃ、だいこんきよす)を使って漬物をつくり市内朝市、イベントにて販売	西春日井生活改善実行グループ 西春日井農協
子ども食堂	市民	・子どもの居場所づくりの一つとして、食事等を提供し地域交流を実施	こども家庭課
食生活改善推進員の養成・活動支援	市民・食生活改善推進員	・食生活改善推進員の養成、定例会における出前講座の実施などの活動支援	健康推進課

4 食をとおして適切な情報の活用の輪を広げる取り組み

名 称	対 象 者	内 容	関係部門
食育レポート	市民 一般	・清須市ホームページにて食育の情報を発信	産業課
学校・幼稚園・保育園給食の献立表	清須市立の小中学校児童生徒及び保育園・幼稚園の園児とその保護者	・月1回献立及びテーマに添った内容を掲載し配布	学校給食センター
「愛知を食べる学校給食の日」	清須市立小中学校児童生徒	・地元産の農産物を食べて、地域のことをもっと知ることを目的に、毎年6月19日に実施されている。 当市では、その日の給食に清須市産や愛知県産の青果を使用した給食を提供している。また、本事業啓発のため、リーフレットを作成し、全児童生徒へ配付。	
「全国学校給食週間」	清須市立小中学校児童生徒	・給食を通して児童生徒に「食」についての様々なことを知ってもらうため、当市では、この期間(毎年1月24日～30日)行事食や郷土料理、地元の農産物を活用した献立を提供している。また、本事業啓発のため、リーフレットを作成し、全児童生徒へ配付。	
アレルギー資料「特定原材料等一覧表」	清須市立小中学校児童生徒とその保護者	・学校給食献立にかかるアレルギー(特定原材料及び特定原材料に準ずるもの)の使用状況が確認できる資料を作成し、必要な児童・生徒・保護者へ配布。	
献立集・朝食献立集	清須市立保育園児と保護者	・給食のおすすめレシピや朝食レシピのファイルを保育園に置いてもらい、保護者は自由に閲覧する。	

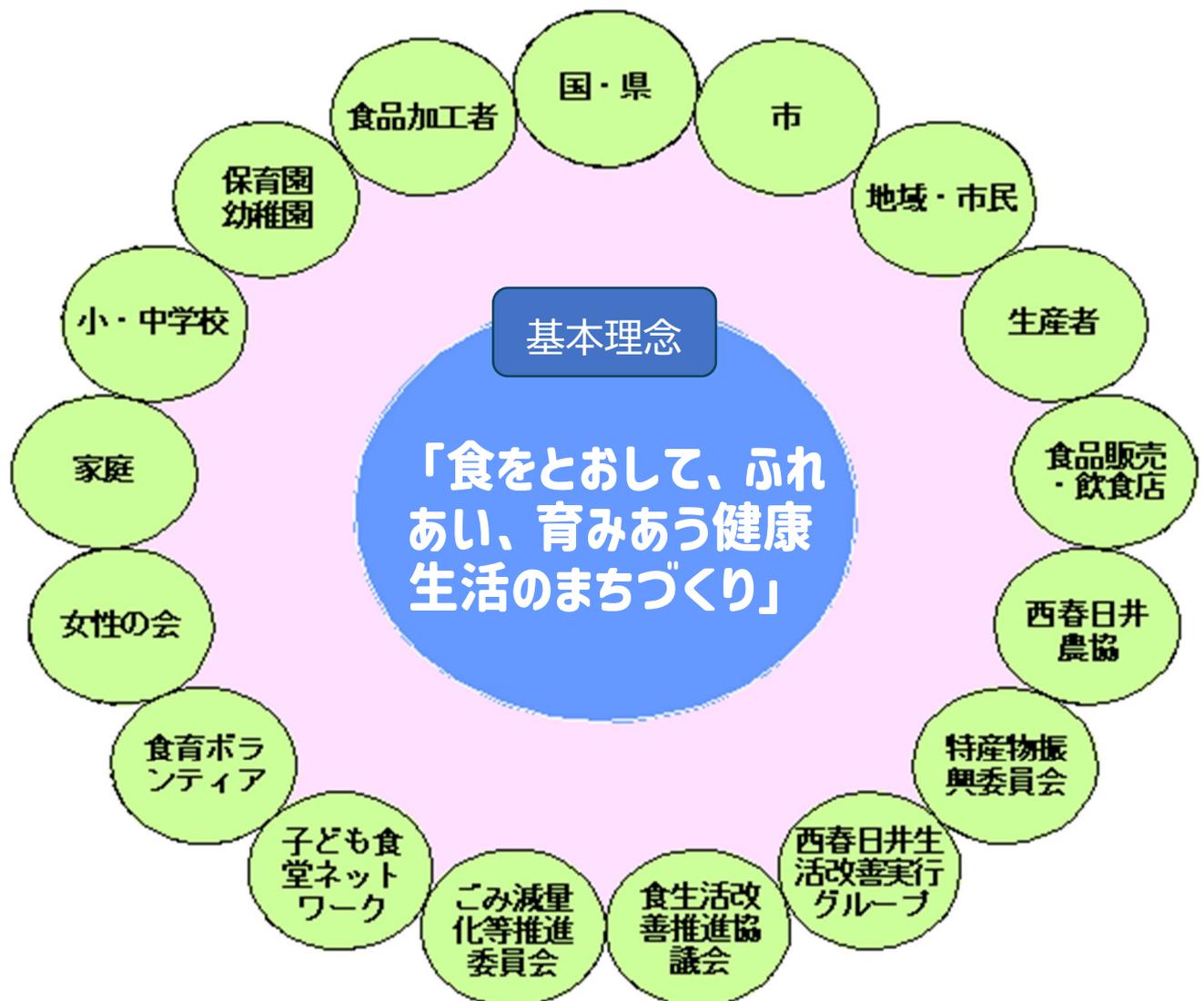
学校給食献立画像の紹介	市民一般	・週単位で、学校給食献立画像をホームページに掲載	学校給食センター
子育てアプリ「キヨスマ」へ食育に関わる記事を掲載	子育て世代の市民	・保育園給食だよりに掲載の広報内容をキヨスマへ「ぱくぱくだより〇月号」として掲載	学校給食センター 児童保育課
食育啓発ポスターを市立保育園・幼稚園、保健センターへ掲示	清須市立保育園・幼稚園の園児とその保護者 保健センター利用者	・「成長期のための食生活指針」やその他をテーマにして年1回西春日井市町保育園栄養職員部会においてポスターを作成し、保育園・幼稚園、保健センターへ掲示	学校給食センター 西春日井市町保育園栄養職員部会 清須市立保育園・幼稚園 健康推進課
ごみ減量の啓発活動	市民 食育まつり来場者	・食育まつりでごみ減量化の体験、分別クイズを実施	ごみ減量化等推進委員会
食育まつり	市民 食育まつり来場者	・食育トーク「かしこく食べて食品ロス削減をめざそう！」の実施 ・宮重大根の味噌おでん無料配布 ・食育ブースの出展	産業課 食育関係団体
広報清須等へのレシピ掲載	市民	・広報清須に『しょっかいさんおすすめレシピ』を掲載 ・清須市社会福祉協議会 清須社協だより「てとて」に資料やレシピを掲載	食生活改善推進協議会 健康推進課
食生活改善推進員の活動報告とレシピ掲示	春日保健センターの利用者	・春日保健センターに食生活改善推進員の活動報告写真やレシピを掲示	食生活改善推進協議会
清須市クックパッドへのレシピ掲載	一般	・清須市の特産物を使用した料理や野菜を多く摂取できる料理のレシピを掲載	産業課 健康推進課
野菜摂取推進のためのロゴの作成・使用	一般	・野菜摂取を広く推進するため、親しみやすいロゴを作成し、ホームページ、ポスター、イベント等で使用	健康推進課

第6章 清須市食育推進の環

清須市の食育は、「食をとおして、ふれあい、育みあう健康生活のまちづくり」の基本理念に基づいて進めています。市民一人ひとりが食育を推進していける行政の取り組みには、「食育の環」が重要になってきます。このことから、第3次食育推進計画にて「つながった」食育の環をさらに「広げる」を第4次食育推進計画の柱として進め豊かな自然、先人から育まれてきた文化、社会経済といった本市の食環境を生かしつつ清須市ならではの食育を推進していきます。

第4次清須市食育推進計画タイトル

～広げていこう 清須のおいしい物語～



参考：第1次清須市食育推進計画からの現状値の推移と令和6年度に行ったアンケートの結果

<保護者>

1 食育という言葉を知っていますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい	93.6% ⇒	97.1% ⇒	98.3% ⇒	97.9%

2 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をこころがけていますか？

	令和6年度
はい	⇒ 89.3%

※バランスの取れた食事をとっていますか？

	平成25年度	平成30年後
はい	24.1% ⇒	67.4%

3 定期的に運動していますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
毎日	8.5% ⇒	8.6% ⇒	7.6%	している
週3,4回	5.4% ⇒	7.0% ⇒	6.6%	⇒ 43.8%
週1,2回	17.6% ⇒	16.9% ⇒	15.2%	
なし	68.5% ⇒	67.0% ⇒	70.7% ⇒	56.0%

4 朝食を毎日とっていますか？

	令和6年度
ほぼ毎日	85.4%
週4~5回	5.5%
週2~3回	5.0%
週0~1回	4.0%

5 家族の中で朝食をとっていない人はいますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい	28.4%	⇒ 25.3%	⇒ 26.0%	⇒ 31.8%

6 朝食または夕食を家族と一緒に食べていますか？

	令和6年度
ほぼ毎日	82.0%
週4～5回	9.5%
週2～3回	6.8%
週0～1回	1.6%

7 地元（清須及び愛知県産も含む）の農産物を選んで購入していますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい			⇒	20.8%

※愛知県産の農産物を選んで購入していますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい	19.6%	⇒ 29.8%	⇒ 24.1%	

8 「清須ふるさとのやかた」で清須市産野菜が販売されていることを知っていますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい				41.6%

9 学校給食に清須市産野菜が使われていることを知っていますか。

	令和6年度
はい	63.2%

10 食料品を購入する時に何を意識して買いますか。

	令和6年度
見た目・鮮度	82.4%
産地・生産者	27.0%
栽培方法	9.1%
金額	11.2%
その他	2.1%

※食料品を購入するとき、原産地表示や添加物、品質の表示を確認していますか。

	平成19年度	⇒	平成25年度	⇒	平成30年後
毎日必ず確認	36.3%	⇒	32.9%	⇒	30.5%
ときどき確認	51.9%	⇒	55.4%	⇒	53.3%
ほとんどしない	8.4%	⇒	8.0%	⇒	12.1%
まったくしない	3.6%	⇒	3.3%	⇒	4.1%

11 田植えや稲刈り、芋ほり等の農作業の経験がありますか。

	令和6年度
はい	69.3%

※お子さんに田植えや稲刈り、芋ほり等の農作業の体験をさせたことがありますか。

	平成19年度	⇒	平成25年度	⇒	平成30年後
はい	61.8%	⇒	57.5%	⇒	58.5%

12 持続可能な開発目標（SDGs）という言葉を知っていますか？

	令和6年度
はい	91.8%

13 毎日の食事は残さず食べていますか？

	令和6年度
はい	88.9%

残す理由は何ですか？

	令和6年度
作りすぎてしま う	65.2%
嫌いな食べ物が ある	22.1%
ご飯を食べる時 間がない	5.7%
その他	6.9%

14 食べきれぬ量の買い物を意識していますか？

	令和6年度
はい	92.3%

15 食品ロス削減のために気を付けていることはありますか？

	令和6年度
はい	79.7%

<小学生>

1 食育という言葉を知っていますか？

	令和6年度
はい	70.2%

2 バランスのとれた食事を食べていますか？

	令和6年度
はい	88.9%

3 定期的に運動していますか？

	令和6年度
なし	82.8%

4 朝食を毎日とっていますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
毎日	92.6% ⇒	94.3% ⇒	90.9% ⇒	ほぼ毎日 91.8%
週半分	3.6% ⇒	3.7% ⇒	5.7% ⇒	週4～5回 4.5%
週1、2回	2.5% ⇒	1.5% ⇒	1.9% ⇒	週2～3回 2.6%
食べない	1.3% ⇒	0.5% ⇒	1.5% ⇒	週0～1回 1.1%

4-1 朝食をとらない理由は何ですか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
いない	34.3% ⇒	11.1% ⇒	24.5% ⇒	10.5%
時間がない	51.4% ⇒	63.0% ⇒	49.1% ⇒	64.0%
食べたいものがない	5.7% ⇒	18.5% ⇒	9.4% ⇒	11.4%
食べるものがない	11.4% ⇒	3.7% ⇒	13.2% ⇒	その他 14.0%

5 家族の中で朝食をとらない人はいますか？

	令和6年度
いる	24.2%

6 家族の人と一緒に食事をとっていますか？ (平成30年度のみ朝食指定)

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
いつも一緒	62.8% ⇒	64.6% ⇒	43.5% ⇒	ほぼ毎日 77.9%
一緒が多い	32.6% ⇒	29.2% ⇒	19.9% ⇒	週4~5回 13.0%
ひとりが多い	4.4% ⇒	4.6% ⇒	25.9% ⇒	週2~3回 6.3%
いつもひとり	0.2% ⇒	1.3% ⇒	10.3% ⇒	週0~1回 2.9%

7 きらいな食べ物がありますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
たくさん	19.9% ⇒	20.6% ⇒	21.4% ⇒	24.0%
すこし	66.0% ⇒	62.9% ⇒	63.2% ⇒	61.3%
ない	14.2% ⇒	16.5% ⇒	15.4% ⇒	14.7%

8 学校給食に清須市産野菜が使われていることを知っていますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい				85.9%

9 田植えや稲刈り、芋ほり等の農作業の経験がありますか。

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい	87.3% ⇒	78.6% ⇒	78.4% ⇒	76.1%

10 食料品を購入する時に何を意識して買いますか。

	令和6年度
見た目・鮮度	82.4%

11 田植えや稲刈り、芋ほり等の農作業の経験がありますか。

	令和6年度
はい	69.3%

11-1

	平成19年度	平成25年度	平成30年後
はい	61.8% ⇒	57.5% ⇒	58.5%

12 持続可能な開発目標（SDGs）という言葉を知っていますか？

	令和6年度
はい	91.8%

<中学生>

1 食育という言葉を知っていますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい	73.6% ⇒	74.3% ⇒	81.3% ⇒	81.1%

2 バランスのとれた食事を食べていますか？

	令和6年度
はい	80.9%

3 定期的に運動していますか？

	令和6年度
なし	78.9%

4 朝食を毎日とっていますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
毎日	92.6% ⇒	94.3% ⇒	90.9% ⇒	ほぼ毎日 91.8%
週半分	3.6% ⇒	3.7% ⇒	5.7% ⇒	週4～5回 4.5%
週1、2回	2.5% ⇒	1.5% ⇒	1.9% ⇒	週2～3回 2.6%
食べない	1.3% ⇒	0.5% ⇒	1.5% ⇒	週0～1回 1.1%

4-1 朝食をとらない理由は何ですか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
いらない	28.0% ⇒	34.4% ⇒	24.1% ⇒	17.8%
時間がない	56.0% ⇒	50.0% ⇒	56.9% ⇒	57.2%
食べたいものがない	12.0% ⇒	7.8% ⇒	8.6% ⇒	11.7%
食べるものがない	2.0% ⇒	1.6% ⇒	10.3% ⇒	その他 13.3%

5 家族の中で朝食をとらない人はいますか？

	令和6年度
いる	26.9%

6 家族の人と一緒に食事をとっていますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
いつも一緒	45.9% ⇒	48.6% ⇒	57.9% ⇒	ほぼ毎日 67.2%
一緒が多い	43.3% ⇒	28.6% ⇒	34.5% ⇒	週4~5回 18.5%
ひとりが多い	8.5% ⇒	16.7% ⇒	6.0% ⇒	週2~3回 9.6%
いつもひとり	2.3% ⇒	6.0% ⇒	1.6% ⇒	週0~1回 4.7%

7 きらいな食べ物がありますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
たくさん	26.1% ⇒	19.7% ⇒	21.0% ⇒	27.1%
すこし	57.3% ⇒	62.7% ⇒	61.1% ⇒	63.4%
ない	16.7% ⇒	15.9% ⇒	17.9% ⇒	9.5%

8 ダイエットを考え、食事をとらないことがありますか？

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい	6.0% ⇒	8.9% ⇒	7.5% ⇒	7.6%

9 「清洲ふるさとのやかた」で清須市産野菜を販売していることを知っていますか？

	令和6年度
はい	25.3%

10 学校給食に清須市産野菜が使われていることを知っていますか？

	令和6年度
見た目・鮮度	86.2%

11 田植えや稲刈り、芋ほり等の農作業の経験がありますか。

	平成19年度	平成25年度	平成30年後	令和6年度
はい	79.1% ⇒	69.6% ⇒	75.3% ⇒	59.2%

12 持続可能な開発目標（SDGs）という言葉を知っていますか？

	令和6年度
はい	96.0%

13 持続可能な開発目標（SDGs）に関心を持っていますか？

	令和6年度
はい	59.7%

14 毎日の食事は残さず食べていますか？

	令和6年度
はい	74.9%

14-1 残す理由は何ですか？

	令和6年度
食べきれない量 でてくる	44.1%
嫌いな食べ物が ある	42.4%
ご飯を食べる時 間がない	11.3%
その他	2.3%

食育に関するアンケート

あなたのふだんの生活をふり返り、質問に答えてください。

あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲ってください。

【Q1】 あなたのせい別は？

- ①男性 ②女性 ③未回答

【Q2】 兄弟・姉妹はいますか？（複数回答可）

- ①兄または姉がいる ②弟または妹がいる
③兄弟・姉妹はいない

【食育について】

【Q3】 食育ということばを知っていますか？

- ①はい ②いいえ

【Q4】 バランスのとれた食事を食べていますか？

- ①はい ②いいえ

【Q5】 定期的に運動をしていますか？

- ①はい ②いいえ

【共食・栄養】

【Q6】 朝食を毎日とっていますか？

- ①ほぼ毎日 ②週に4～5日 ③週に2～3日 ④週に0～1日

【Q6-1】朝食をとらない理由は何ですか。

- ①食べたくない ②時間がない
③食べたいものがない
④その他（ ）

【Q7】 家族の中で朝食をとらない人はいますか？

- ①はい ②いいえ

【Q8】 朝食または夕食を家族と一緒にとっていますか？

- ①ほぼ毎日 ②週に4～5日 ③週に2～3日 ④週に0～1日

【Q9】 きらいな食べ物はありますか？

- ①たくさんある ②少しある ③ない

【地産地消】

【Q10】 学校給食に清須市産野菜が使われていることを知っていますか。

- ①はい ②いいえ

【Q11】 田植えやいねかり、いもほり等の農作業のけい験がありますか？

- ①はい ②いいえ

【食品ロスさくげん】

【Q12】 持続可能な開発目標(SDGs)という言葉を知っていますか。

- ①はい ②いいえ

【Q13】 毎日の食事は残さず食べていますか。

- ①はい ②いいえ

【Q13-1】 残す理由は何ですか？ 【Q14】で②と答えた人のみお答えください。

- ①食べきれない量でてくる ②きらいな食べ物がある
③ご飯を食べる時間がない
④その他（ ）

【Q14】 「ご飯を残さない」「好き嫌いをしない」など
かんきょうに気を付けて行動していますか。

- ①はい ②いいえ

これでアンケートはおわりです。

ありがとうございました。

第4次清須市食育推進計画

清須市 市民環境部 産業課

〒452-8569 愛知県清須市須ヶ口1238番地

TEL 052-400-2911 FAX 052-400-2963

URL:<https://www.city.kiyosu.aichi.jp/>

E-mail:sangyo@city.kiyosu.lg.jp